

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	1	消防・防災の充実
	主要施策	2	防火体制の強化
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

<b>1 目的（何のために）</b> 町民が防火対象物を安心・安全に利用できるため。	<b>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</b> 防火対象物の火災危険となる要因を早期に発見し、その危険を排除し、安全・安心なまちづくりを推進する。
---	--

**II 施策の実施結果**

**1 成果指標達成状況**

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	住宅用火災警報器普及率	件数	○ 単年	80	実績値	23	68	68				
			累計		達成率	/	/	85.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	火災発生件数（過去5年平均）	件	○ 単年	減少	実績値	-	11.2	10.0				
			累計		達成率	/	/	減少				
指標3			○ 単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					

**2 施策に係る事業費**

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	133 千円	133 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	133 千円	133 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	%	%	%	%

**3 施策に係る事務事業一覧**

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
5121	防火対象物消防法令違反処理の技術強化	133	95%	○									予防課 予防指導係
5122	住宅用火災警報器の普及促進	0	87.5%	○									予防課 予防係
合計 2 事業			133										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	<p>○根室北部消防事務組合火災予防立入検査規定に基づき平成28年度は、295件の立入検査計画を立て実施したところ312件の立入検査を実施することができ、計画以上の実施率を達成することができたとともに、適切な防火指導を行うことができた。</p> <p>○住宅用火災警報器の普及促進については、全世帯を対象に実施(設置世帯数7,534件管轄世帯数11,042)したところ68%の設置率であり、全道の平均率を下回っているが、パンフレットやチラシ等を配布し設置率の向上を継続的に進めることができた。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

各種法令等の改正に対応するため、今後も専門分野の各種講習及び研修会等を受講し、より一層高度な法律的知識と技術の習得が必要である。

#### 3 今後の方向性

火災発生未然防止、被害の軽減を目標とし、事業所等に実施する立入検査による火災予防対策と平行し、一般住宅と共同住宅における防火対策の充実を図る。また、この施策を進めるためには、長期的に継続し広く町民に周知することで理解を深めることが重要である。

#### 4 施策の進め方の評価

		担当	消防署長
施策の進め方	評価の根拠		
<b>A</b>	<p>防火対象物の法令違反は、利用する町民に深刻な被害を及ぼす危険性があることから、適正な立入検査を継続的に実施し、実施後の違反是正の徹底を重点的に図るとともに、高齢化が急激に進むことが予想されている中で、火災を早期に発見し、避難するためには、住宅用火災警報器の設置率の向上を含めた住宅防火対策の推進が重要であり、今後は、消防団とも連携して、設置された住宅用火災警報器の維持管理などの啓発を考慮した防火訪問、戸別訪問を実施し、住宅火災による死傷者の発生防止を図るなど、効果的かつ効率的に防火体制を強化していく必要がある。</p> <p>施策の進め方の評価は、指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、「このまま進めてよい」とする。</p>		
A このまま進めてよい			
B 若干の見直し・修正が必要			
C 大幅な見直し・修正が必要			

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	作成年月日	平成29年6月28日
-------	--------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	1	消防・防災の充実
	主要施策	3	防災体制の強化
その他関連計画		中標津町地域防災計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
平成23年の東日本大震災をはじめ昨年の熊本地震、近年の異常気象による集中豪雨など自然災害に対する危機管理体制の整備に加えて、防災・減災体制の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な情報伝達手段の整備、充実を図り、災害から自ら身を守り、被災者数を抑制する。</li> <li>自助、共助、公助のもと、災害に備えた備蓄に取組み、防災・減災の地域づくりを進める。</li> </ul>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	防災活動拠点の整備箇所	箇所	単年	6	実績値	0	2	4				
			○累計		達成率			66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	防災拠点における資材備蓄率	%	単年	100.0	実績値	25.0	40.0	74.0				
			○累計		達成率			74.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			単年		実績値							
			○累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	4,340 千円	3,420 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	234,400 千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	7,263 千円	16,645 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	11,603 千円	254,465 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		2193.10 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性							担当係				
				A	B	C	D	E	F	G		H	I		
5132・5134	防災情報連絡体制整備事業	247,180	90%	○											防災係
5133	防災備蓄品等整備事業	7,285	85%	○											防災係
合計 2 事業		254,465													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 平成25年に地震、風水害、雪害、火山災害などに対応した「中標津町地域防災計画」を改訂し、職員はもとより、町民の方々の危機管理体制の指針を定め、災害時の被害を最小化する「減災」を基本に、防災拠点となる公共施設の整備をはじめ防災ハンドブックの作成、配布、防災訓練の実施などで防災体制の強化及び防災意識の高揚が図られた。
---	---

#### 2 課題

近年は、地震だけではなく、異常気象による集中豪雨や火山活動の活発化などを受けて、随時見直しが行われている国や道の防災計画に適宜対応していかなければならない。

#### 3 今後の方向性

平成29年7月に完成する防災無線のデジタル化整備を核として、様々な通信手段で伝達体制を確立させ、災害時における「自助」「共助」「公助」がそれぞれ効率的に推進されるよう各種マニュアルの作成を進める。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

総務部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 広く住民に周知するための情報伝達手段の検討・工夫が急務である。
--	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	作成年月日	平成29年6月28日
-------	--------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	1	消防・防災の充実
	主要施策	4	地域防災力の向上
その他関連計画		中標津町地域防災計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
平成23年の東日本大震災をはじめ各地で頻発する大規模地震、近年の異常気象による集中豪雨などにより防災意識が高まる中、町民や企業が自ら防災に備え、対応する「自助」、地域での助け合いによる「共助」、国や道、町が行う「公助」による役割分担を確立し、防災・減災体制の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の防災意識を向上させ、災害時の被害を最小限にする。</li> <li>・町民、事業所等が自主的に防災訓練を実施することで地域防災力の向上が期待できる。</li> </ul>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 自主防災組織の組織化率	% ○ 単年 ○ 累計	75.0	実績値	4.0	35.0	35.0				
			達成率			46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の割合（町民アンケート）	% ○ 単年 ○ 累計	85.0	実績値	-	37.1	37.2				
			達成率			43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3	単年 累計	実績値								
		達成率								

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	724 千円	690 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	234,400 千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,691 千円	12,150 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,415 千円	247,240 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		5600.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性									担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I			
5141	地域防災力向上事業	60	85%	○	○										防災係
5142	防災情報連絡体制整備事業	247,180	90%	○	○										防災係
合計 2 事業			247,240												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	10月4日の「防災の日」啓発事業の実施をはじめ広報紙・ホームページ・SNS(ソーシャルネットワークサービス)・広報車による啓発活動、備蓄品の展示、避難所運営ゲームの実施、各種研修会への講師として職員を派遣するなど幅広く町民に啓発活動を展開したことで、住民の防災意識が向上している。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での助け合い「共助」の中心的役割を担う地域防災リーダーの育成が急務となっている。</li> <li>・防災訓練などのマンネリ化や形骸化しないような工夫が必要である。</li> </ul>
---

#### 3 今後の方向性

地域防災リーダーの養成講座を実施し、各地区における防災知識の普及啓発、防災訓練の実施など、自主防災組織の立ち上げの促進を図っていく。
--

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

総務部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	早期に、災害による市街地をつなぐ橋の倒壊等に対応する仮設橋梁の設置訓練を自衛隊及び道の協力のもとに実施する。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	作成年月日	平成29年6月28日
-------	--------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	1	消防・防災の充実
	主要施策	5	建築物の耐震化
その他関連計画		中標津町耐震改修促進計画	
その他関連施策			
担当課			

<b>1 目的（何のために）</b> 地震が発生した際の建築物の倒壊などの被害及びこれに起因する生命・財産の被害を未然に防止するため、既存建築物の耐震診断及び耐震改修を促進し、安全で安心な生活を確保する。	<b>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</b> ・地震発生時における建物の倒壊の防止。 ・計画的な公共施設の耐震化の促進。
---	---

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 公共建築物の耐震化率	%	90	単年	実績値	76.5	85.0	90.0			
			累計	達成率			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年	実績値						
			累計	達成率						
指標3			単年	実績値						
			累計	達成率						

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	435 千円	450 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	165 千円	150 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	600 千円	600 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係				
				A	B	C	D	E	F	G	H	I							
5151	建築物耐震改修促進事業	600	52.5%	○															防災係
合計		1	事業																

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設については、総合体育館の完成により目標耐震化率を達成した。</li> <li>・既存住宅等の耐震化においては、国・道の補助制度を活用した支援を制度化しているが、耐震改修に要する費用の面からなかなか進まない状況にある。</li> </ul>
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

耐震改修には相当な費用がかかることから、リフォームや建替をするか、迷っている住宅所有者が多い。また、費用に対する補助金の額が少ないのもネックとなっている。

#### 3 今後の方向性

平成29年度において、国の方針、北海道計画の改正を踏まえた「耐震改修促進計画」を改訂し、今後は、その計画に沿った耐震改修の促進を図っていく。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

総務部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	改定後の「耐震改修促進計画」の実行性の確保に向けた体制の整備及び検討が必要である。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>B</b>	ポンタワラ川改修工事 かごマット護岸L=30m 河川管理経費 ますみ川、ミドリ川、タワラマップ川清掃、クテクンベツ川、俣落川河床均し等、河川改修維持管理を適切に行い治水対策と洪水被害に対応する。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

郊外地の河川では、大雨などによる増水に伴い、河岸が洗掘されている箇所があるため、護岸整備工事等必要であるが、財政負担が多額であるため、河川流域を調査し、計画的な護岸工事の実施が必要である。

#### 3 今後の方向性

市街地の河川は、かごマット等の小規模な護岸改修工事を実施するとともに、河川清掃、施設点検を計画的に実施する。  
 郊外地の河川は、河川流域調査を実施し、計画的な護岸工事を実施する。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

建設水道部長

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>B</b>	市街地の河川については、濁流の発生も少なく、増水に対応した比較的小規模な護岸整備等で対応可能と思われる。 郊外地では、濁流・増水により河岸浸食及び河床低下が発生している。河岸浸食では、農地が削られ耕作に影響を与えるほか、下流域の港湾等への土砂流入が危惧される。河川浸食では、橋梁部の河床低下により橋台・橋脚周辺の洗掘が深刻な問題となっている。 今後は、町建設業協会が町への地域貢献事業として実施している「明日に架ける橋プロジェクト」において、橋台・橋脚周辺の洗掘状況の目視点検をお願いし、異常報告時には町が確認し河川保全対応方針を策定する。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	2	防犯・交通安全の充実
	主要施策	1	防犯活動の促進及び意識高揚
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
安全で安心に暮らせる生活環境を構築するため、地域ぐるみで町民を犯罪から守るための防犯活動の充実を図る。	防犯活動が促進され防犯意識の高揚が図られる。 暴力のない明るく平穏な郷土を実現する。 犯罪や青少年の非行から町民の安全を確保する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 刑法犯認知件数	件/年	0	実績値	-	134	79				
			達成率	/	/	-				
指標2 地域や企業などで防犯活動に参加している町民の割合（町民アンケート）	%	30.0	実績値	-	24.3	19.3				
			達成率	/	/	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			実績値	/	/					
			達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	9千円	7千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,528千円	2,242千円	千円	千円	千円	千円
事業費	2,537千円	2,249千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		88.65%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係			
				A	B	C	D	E	F	G		H	I	
5211	防犯協会補助	235	75%	○										交通町民相談係
5211	暴力追放運動推進協議会補助	57	82.5%	○										交通町民相談係
5211	安全で住みよいまちづくり推進協議会運営費	1,957	82.5%	○										交通町民相談係
合計 3 事業		2,249												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	防犯活動は「安全で住みよいまちづくり推進協議会」が中心となり、関係機関・団体との連携により住民啓発や防犯運動を推進した。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

防犯活動は、関係機関・団体と連携し、防犯意識の向上、地域住民による自主的な防犯活動を促進していかなければならないが、依然として、車上狙いや子どもたちに対する不審者からの声かけなどが後を絶たず、また特殊詐欺なども手口がますます巧妙化している。

#### 3 今後の方向性

防犯活動は、安全・安心なまちづくりのため、今後とも防犯に関する情報の提供を継続して関係機関・団体と進めていく。また町民一人ひとりの防犯意識を高め、身近でできる防犯対策に取り組むことを促していく。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	防犯活動は、地域の安全、安心を進めて行くために必要な活動であり、今後とも関係機関、団体との連携を深め、地域住民による防犯意識を高めて行く必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	2	防犯・交通安全の充実
	主要施策	2	防犯施設の整備拡充
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
町民が安心して暮らすことのできる安全で住みよい地域社会の実現に寄与する。	夜間の犯罪発生や交通事故等について未然防止が図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	防犯灯設置数	基	単年	2,000	実績値	1,961	1,961	1,965				
		○	累計		達成率			98.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年		実績値							
			累計		達成率							
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	12,697 千円	11,975 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	12,697 千円	11,975 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		94.31 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性								担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H		I	
5221	防犯施設の整備	11,975	85%	○										交通町民相談係
合計 1 事業			11,975											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	防犯灯は、宅地造成に伴い防犯灯を逐次設置している。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

地域からの要望が多く、限られた予算の範囲内であることから、緊急性の高い場所から優先した設置となっている。既存設置場所の見直しなどで効果的な設置が必要である。

#### 3 今後の方向性

防犯灯の設置及び維持補修については、地域の犯罪抑止力からも必要であり今後も整備していく。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	防犯灯については、中学生議会でも中学生から設置について要望が上がるなど、市街地の拡大とともに要望が多いことから設置及び維持補修については今後とも推進する。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>C</b>	スクールゾーンなどの交通道路標示工事は、隔年実施をしていることから平成28年度は実施なし。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

北海道公安委員会が設置を行う交通安全施設は、少ないながら設置要望に沿った設置が行われているが、全道の中で集約し決定されることから、本町の要望がなかなか実現しない状況にある。

#### 3 今後の方向性

交通安全施設は道路整備が行われる都度新たな要望が発生しており、今後とも学校周辺や通学路を優先して、北海道公安委員会に要望していく。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	交通安全施設については、今後とも地域要望を参考に学校周辺、通学路を優先して要望する必要があることから、従来通り要望を進めて行く必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 交通安全運動は、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を行った。それにより交通事故死0を更新した。
---	--

#### 2 課題

本町の生活スタイルは、自家用車を利用するクルマ社会となっており交通事故は身近な問題となっている。安全安心なまちづくりを推進する上で、子どもたちへの交通安全思想の普及や高齢者への交通安全思想の再確認など継続して実施することが必要である。 交通安全指導員は、高齢化により不足している。随時募集は行っているが、なり手がいない状況である。
--

#### 3 今後の方向性

交通安全については、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を実施していく。 また、高齢者が関わる交通事故が増えてきていることから、高齢ドライバーに対する安全運転の啓発や夜間の歩行に対するの注意喚起を今後とも関係機関との連携により交通事故抑止のための活動を継続していく。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

	担当部長 町民生活部長	
施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 交通安全意識の啓発は年齢層に応じた啓発活動が求められることから、交通安全協会の協力により交通安全教室の開催を進めていく。特に高齢者に対する自動車、自転車の運転については、積極的な注意喚起を行うなど交通事故の防止に向けた活動を進める。	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	3	消費者対策の推進
	主要施策	1	町消費生活センターの充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
消費生活に関する情報提供のため。	町の消費者行政の推進に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	出前講座開催数(消費生活情報)	回/年	○ 単年 累計	10	実績値	6	3	2				
					達成率			20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	消費生活相談件数	件/年	○ 単年 累計	100	実績値	145	82	81				
					達成率			81.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3	消費生活に関する窓口が役場にあることを知っている町民の割合(町民アンケート)	%	○ 単年 累計	70.0	実績値	-	39.9	40.4				
					達成率			57.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	2,032 千円	1,297 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	87 千円	96 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,430 千円	2,527 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,549 千円	3,920 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		86.17 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5311	消費生活モニター	0	75%	○												交通町民相談係
5312	無料法律相談	315	82.5%	○												交通町民相談係
5312	消費生活センター	2,305	80%	○												交通町民相談係
5312	消費者行政活性化事業	1,300	90%	○												交通町民相談係
合計 4 事業			3,920													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 近年複雑多様化する相談内容に適切なアドバイスを実施した。また出前講座や情報紙を通じて特殊詐欺などを未然に防止する注意喚起や啓発を行った。
---	--

#### 2 課題

消費取引の多様化に伴い、悪質商法の被害を受けるケースは後を絶たず、またそれに伴う多重債務の発生など、高齢者などの弱者への強引な商取引による被害なども相変わらず発生している。

#### 3 今後の方向性

今後、ますます多様化複雑化する事例に対応するため、専門スタッフを養成し、相談体制充実させていく。消費生活センターでの相談件数は減少しているが、新卒の悪質商法などが発生している状況で、消費生活センターの存在をPRしていく。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 消費生活センターにおける役割は、近年の巧妙かつ複雑化する相談に対応するため、専門スタッフを養成し資質の向上を図り、消費者の被害を未然に防ぐことが必要である。 このため、複数の相談員の配置及び消費生活センターの広報を進めることが消費者保護へと繋がる。
--	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	3	消費者対策の推進
	主要施策	2	町消費者協会の活動強化
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 町民に対して消費生活に関する情報提供のため。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 町の消費者行政の推進に寄与する。
---------------------------------------	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年				実績値							
	累計				達成率							
指標2	単年				実績値							
	累計				達成率							
指標3	単年				実績値							
	累計				達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	503千円	503千円	千円	千円	千円	千円
事業費	503千円	503千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		100.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性								担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H		I	
5321	消費者協会活動補助	503	77.5%	○										交通町民相談係
合計 1 事業		503												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	町消費生活センターと町消費者協会が連携し、各種消費生活運動を行い消費者の意識向上を図った。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<p>平成23年度から事務局を福祉センターに移し、独自の活動を展開している。          消費者大会や街頭啓発などの実施により広く住民に消費者意識の向上を訴えているが、通常の情報発信は会員への情報紙のみであり不足している。</p>
--

#### 3 今後の方向性

<p>消費者相談は、役場生活課に置いている町消費生活センターで行っているが、町消費者協会でも独自に相談員を養成し、連携を図りながら進めていく必要がある。</p>
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	消費者に関する対策は町消費者協会で消費者大会、街頭啓発などを行っているが、相談業務については町消費生活センターが行っており、今後は町消費者協会との連携も含めた相談体制の構築が必要となることから、消費者意識の向上と併せて今後もいろいろな施策が必要となる。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>
-----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	1	環境保全推進体制の確立
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
中標津町環境基本条例、中標津町環境基本計画に基づき、各種環境保全施策を展開し、現在及び将来の町民が健康で文化的な生活を営む上で必要な環境を確保する。	具体的な対策及び指針等を策定。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係	
				A	B	C	D	E	F	G		H
5411	地域環境管理整備促事業計画	0	57.5%	○								環境衛生係
合計 1 事業			0									

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	中標津町環境基本計画に基づき、町の美化活動を推進し、ごみの減量化やリサイクルを進め、廃棄物の適正処理を促進した。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

環境保全の重要性をさらに周知し、町民一人ひとりの意識高揚へ繋げ、推進体制を確立する必要がある。
---

#### 3 今後の方向性

環境保全施策を展開する中で、現在の状況を踏まえ、さらに将来の環境を確保するための教育や情報発信をしていかなければならない。 また省エネを推進していくためには市町村単位ではなく、北海道全域における省エネ対策への取組が効果的である。 定期的に環境審議会を開催し、中標津町環境基本計画に基づく各種環境保全施策を検証していく必要がある。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	町民生活部長
------	--------

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	中標津町環境基本計画に基づき、各種施策を展開しているところだが、環境審議会の開催により計画の進展状況の確認、新たな基本計画(現計画が平成32年度まで)の策定も含めた検証を行っていくことが必要である。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価(自己評価に対する意見等)

二次評価のとおり
----------

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	2	環境保全意識の高揚
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 不法投棄防止に向けた取組。子どもたちの環境教育の推進。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 環境保全、不法投棄防止の意識を高め、環境美化、ゴミの減量につなげる。
--	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				実績	中間実績					
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5421・5422・5423	環境保全意識の高揚	0	87.5%	○												環境衛生係
合計 1 事業		0														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 自然の番人宣言に基づき町内会、事業所等と協力連携し、町内一斉清掃活動を実施した。また各種団体のボランティア清掃活動を支援した。 小中学校での環境教育の一環として出前講座を実施。一般廃棄物最終処分場やリサイクルセンターへの見学を実施した。 また、家庭内では、省エネやごみの分別などにより環境に配慮した生活スタイルが定着してきている。 不法投棄対策として監視カメラを購入設置した。なお、警察と連携し摘発した。
---	---

#### 2 課題

不法投棄などによる環境を悪化させないためには、町民の意識の向上を推進しなければならない。そのためには子どもたちへの環境教育の充実や、家庭での環境問題への取組、事業者による事業活動における環境対策の実施などが必要となる。
---

#### 3 今後の方向性

環境保全意識の普及及び住民参加による取組の推進を継続していく必要がある。
--------------------------------------

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 町民一人ひとりが環境に対する問題や保全意識に対する認識を高めるためには、不法投棄などの身近な環境問題を学習できる場の提供など今までの事業を継続していくことが必要である。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	3	河川と水の保全
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
雨水排水・工場排水・家庭排水・家畜糞尿等様々な物質が河川に流出し、河川環境の悪化を防ぐため。	水質基準値を基準範囲内に収める。

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				実績	中間実績					
指標1	単年 累計		実績値							
			達成率	/	/					
指標2	単年 累計		実績値							
			達成率	/	/					
指標3	単年 累計		実績値							
			達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	8,169 千円	7,599 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	8,169 千円	7,599 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		93.02 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I					
5431	し尿処理手数料補助	6,696	75%	○													環境衛生係
5433	環境保全に係る河川水質調査事業	903	80%	○													環境衛生係
合計 2 事業		7,599															

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 標津川は市街地上流の最終処分データを使用し、俵橋の共成橋に監視地点を設けた。当幌川は国道272号線の豊岡橋と西9線当幌大橋に監視地点を設定し、年4回の検査を実施した。12項目の分析項目を、標津川(上流部・下流部)、当幌川(上流部・下流部)の4地点で年4回検査を実施している。
---	---

#### 2 課題

河川への汚濁水は、市街地においては下水道の普及により抑止された状況。しかし第1次産業において発生する産業排水は、様々な手法により現在その対策が検討されている。

#### 3 今後の方向性

下水道の普及率の向上と、第1次産業において発生する産業廃水の河川への流入抑止に向けた対策の確立が重要となっている。し尿処理に関しては、収集体制を維持することが必要であるが、負担と受益を考慮する必要がある。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 生活排水については、下水道の普及に伴い適正な排水の促進がされているが、第一次産業による産業排水については、流入防止に様々な方策が検討されている。今後もし尿収集体制の維持と河川の調査を実施し環境汚染の防止に努める。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	経済部農林課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	--------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	4	森林と緑の保全
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

<p><b>1 目的（何のために）</b></p> <p>地球規模で環境悪化が顕在化しており、進行している地球温暖化の対策は、世界共通の課題であり、世界第5位の二酸化炭素排出国である日本の責任は大きい。二酸化炭素吸収能力を持つ森林は、緑のダムとしての災害防止機能やヒーリング機能等多面的機能を担っており、未来に引き継いでいかなければならない貴重な財産である。</p>	<p><b>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</b></p> <p>日頃から、森づくりや地域緑化事業への住民参加を促すことで、森や木の大切さの共通理解が進み、地域住民の緑化保全に対する協力が醸成される。</p>
---	---

**II 施策の実施結果**

**1 成果指標達成状況**

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 植樹祭による緑化面積	単年	8.16	実績値	3.52	6.16	6.56				
	○ 累計		達成率			80.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

**2 施策に係る事業費**

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	190千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	294千円	341千円	千円	千円	千円	千円
事業費	294千円	531千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		180.61%	%	%	%	%

**3 施策に係る事務事業一覧**

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5442	生活環境保全林管理(管理道草刈)	56	67.5%	○												林務係
3232・5441	緑化推進事業(植樹祭)	466	97.5%	○												林務係
3232・5441	緑化推進事業(植樹祭後の植栽木管理)	9	90%	○												林務係
合計 3 事業			531													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	植栽後の下刈作業については、緑化管理組合等を中心に、ボランティアにより施業しているが、毎年多くの参加がある。町の植樹祭についても、近年参加者が増加傾向にあり、住民の緑化意識が高まっているものと感じている。
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

植樹祭会場やスコップ等の用具の問題もあり、千本/年を目標に植樹祭を実施してきているが、ここ2年程度参加者が増加傾向にあり、今後更に参加者が増加する可能性もあり、その場合の会場の確保、用具類の確保が課題となる。また、植栽後のシカの食害対策が課題である。

#### 3 今後の方向性

町民との協働のまちづくりの視点に立った緑化事業としての植樹祭は、木の大切さ、森の大切さを考え、町民が自ら森づくりに参加出来る大切な行事である。植栽後の保育管理も、緑の財産を次世代へ引き継ぐための大切な作業であり、まちづくりの視点からも、とても意義深い事業である。生活環境保全林は、開陽台牧場内を流れるせせらぎ等、来訪者が自然を身近に親しむことのできる公園として整備しており、散策路の機能維持のためにも草刈は今後も必要である。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

経済部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	森林の持つ公益的機能を守り、その価値をPRすることは大変重要である。 当町を中心とする格子状防風林の歴史的価値を高めるとともに、町民が植樹する意識を醸成することが必要である。
A このまま進めてよい	木を植え、森林を維持する施業は継続する必要があるが、町有林では概ね適切な管理が行われている。民有林においても手厚い助成制度により一定の管理は行われているが、成長した樹木の木材利用が喫緊の課題である。
B 若干の見直し・修正が必要	J-クレジット販売については、地元企業等を通じたクレジット付商品の開発販売等も研究したい。
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	経済部農林課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	--------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	5	野生動植物の保全
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
・カラス～乳牛へのいたずらで、高価な牛をダメにするケースもあり、酪農家からのカラス駆除の要望は強い。 ・キツネ～市街地への出没が増える傾向にある。キツネの餌やりや、家庭菜園ブームで餌になりそうなものを畑の肥料に使用していることも寄り付きの要因と思われる。深刻な被害はないまでも、エキゾックスの心配もあり、住民からの駆除要望は多い。 ・エゾシカ～春先の牧草の若芽の食害や、デントコーン、畑作苗等の食害は相変わらずあり、駆除を休むと年2割で増殖する動物であり、継続した駆除は必要。	カラス、エゾシカは農業被害を低減させる目的で取組んでいるが、エゾシカの食害についての算定根拠が明確でないため、金額ベースでの被害額が減らない（実際には減っていると思われる）。 キツネについては、市街地での駆除は檻に頼るしかなく、一定程度捕獲しても、郊外からまた、新たなキツネが入り込むという状況が続いている。

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 エゾシカ有害駆除頭数	頭	700	実績値	726	919	723				
	○ 単年累計		達成率			103.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	単年		実績値							
	○ 累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	○ 累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	540 千円	500 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	6,233 千円	5,698 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	6,773 千円	6,198 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		91.51 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I					
5451	市街地エゾシカ侵入対策事業	105	82.5%													○	自然環境係
5452	野生鳥獣保護対策	81	92.5%	○													自然環境係
5454	有害鳥獣駆除対策	481	90%	○													自然環境係
5454	エゾシカ農業被害対策（有害鳥獣駆除）	5,531	90%	○													自然環境係
合計 4 事業			6,198														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	キツネの檻による捕獲と同時に、町内会と連携した野生鳥獣及び、野良犬、野良猫等への餌やり禁止の周知で、効果の上がっている地域もある。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

野良猫や野良犬に限らず、キツネや鴨等、野生鳥獣への餌やりはなくなり、目撃者からの苦情も寄せられるが、隣近所の間人間関係にも影響することから、個別指導にも気を使う。町内会の協力を得ながら地道に対応している。近年では、ヘビや毛虫の駆除まで自然環境係に連絡が入る状況であり、本来行政が扱うべきか疑問のある苦情が増えている。町内会への加入率の低下に見るように、隣近所との付き合いが希薄になっているのも要因と思われ、根は深いものがある。エゾシカ駆除の対応については、ある程度成果は上がっているが、駆除したシカの有効活用については、各業者の思惑もあり、今後もトラブルの可能性をはらんでいる。また、残滓処理について、一般廃棄物としての許可を受けた業者が、受入を突然中止する等、対応に振り回されている。今後は猟友会と協力し、安定的な残滓処理設置についても検討したい。ヒグマについては、目撃される場所もある程度特定されており、クマのテリトリーもそれなりに確立されているものと思われるが、個体数は増えているものと推測する。平成元年まで道で実施していた、春クマの駆除を実施しなければ、今後人的被害の可能性もありうる。

#### 3 今後の方向性

エゾシカの有害駆除については、繁殖率の高い動物であり、今後も継続した取組が必要。郊外で問題となっている野犬は、一部の放し飼いなど犬猫の飼い方のモラルの徹底が求められ、JAや町内会など団体を通じた粘り強い啓発を今後も続ける必要がある。人的に被害を及ぼさないような野生動物(ヘビ等)及び外来動物(アライグマ等)の対応も行っているが、方針を検討する必要がある。外来植物については、その扱いが明確になっておらず、横断的に協議し考え方をまとめる必要がある。

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

経済部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	シマフクロウのように絶滅危惧種に指定されている動物を守ることや、エゾシカの個体数管理のための有害鳥獣対策は自然と人間生活のバランスを保つことから必要である。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	
有害鳥獣対策、特にエゾシカ対策は人間生活、環境対策上必要であり継続する必要がある。エゾシカの捕獲は成果を挙げているが、適正頭数としての管理まではまだ時間がかかる。エゾシカの有効利用のために地元飲食店と協力し、安定供給と食材としてのPRを推進するために、推奨店制度を導入し、7店舗が加入した。 有害鳥獣対策としては民間ハンター、猟友会との連携が不可欠であるが、ハンターの高齢化などが課題となっていることから、育成が必要な時期に来ている。  イヌ、ネコは野生化させないための飼い主のモラル向上の働きかけが必要である。	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	4	環境保全の推進
	主要施策	5	野生動植物の保全
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
近年、特に市街地付近で減少中であるエゾリンドウについて移植・研究し、もって保護・増殖することを目的とする。	移植した株や発芽したエゾリンドウが自ら増殖すること。また、群生地での保全と整備に努め、鑑賞・観察可能な環境を残し、町民の町花保護意識を高めること。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	51千円	49千円	千円	千円	千円	千円
事業費	51千円	49千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		96.08%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
5455	エゾリンドウ保護増殖事業	49	90%	○									学芸係
合計 1 事業			49										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植地＝環境整備(9回)、写真撮影(12回)、移植(1回、150株)、補植(1回、4株)、播種(1回)</li> <li>・調査＝自生地調査(3回) 保護:発芽株・移植株育成(随時) 整備:群生地の草刈(1回)、岩石園・郷土館・りんどう球場整備(随時)</li> <li>・周知＝「中標津町郷土館ブログ」「中標津町郷土館フェイスブック」(随時)</li> </ul> <p>これまで8回の移植により、1,272株の保護を行った。 また、長年中標津町郷土館友の会との協働していることから、作業が円滑に進められている。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

10年間この事業を実施してきたことにより、エゾリンドウについての知見がかなり得られ、また、移植による保護が進んだことにより町民の目に止まる機会は増えた。しかし、現在のように自らで繁殖できない場所へ移植を続けていても限界があるため、繁殖できる町有地等の調査も必要と思われる。

#### 3 今後の方向性

今後も協働により継続して取り組む。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町花エゾリンドウの生息する私有地が開発され群生地が失われるため、対策として生息環境の調査と相当数の移植を実施し、生息に適した環境の判明と花の保全を行った。今後も、引き続き保護増殖に努める方針である。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用料の把握はしているが、大幅な削減とはなっていない。しかし、把握をすることで職員個々の意識改革につながる。また、平成28年度に地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正がされたが、削減目標数値は明示されておらず、今後、国や世界の動向を注視しながら進めなければいけない。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用料の把握はしているが、大幅な削減とはなっていない。また、平成28年度に地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正がされたが、削減目標数値は明示されておらず、今後、国や世界の動向を注視しながら進めなければいけない。
---

#### 3 今後の方向性

庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用量を職員に周知し個々の意識改革につなげていく必要がある。
---

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	温室効果ガスの排出については、庁舎の事務事業において量的な把握はしているが、大幅な削減効果は得られていない状況であり、今後も国から示される削減目標に向かって職員個々の意識改革と併せて進めていく必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>B</b>	省エネルギー推進委員会及び取組をサポートする省エネアドバイザーを設置し、アドバイザーからの助言を受け、使用形態の見直し等を図り、使用量の削減に努めたほか一部の施設では節電対策工事を実施し、エネルギー消費量の削減を図った。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に省エネ診断を実施しているが、未実施の施設においても早急に診断を実施し、現状を検証したうえで各種方策を実施しながら効果的な対策を講じられるよう取組を推進する必要がある。</li> <li>・全てのエネルギーの使用施設において、運用改善や管理基準の作成などに取組を展開していくための、職員個々の意識を高めていく必要がある。</li> </ul>
--

#### 3 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての施設において省エネルギーアドバイザーによる省エネ診断を実施し、省エネルギー化を図る。</li> <li>・照明器具のLED化、ボイラーの取替え、エコキュートや太陽光発電の導入など、省エネ診断と平行して費用対効果を勘案したうえで導入を検討していく。</li> </ul>
---

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

総務部長

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	有利な補助制度等を活用しながら、省エネ対策を計画的に講じていく必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>
-----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	5	循環型社会の形成
	主要施策	1	ごみ処理・リサイクル体制の充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） ごみ減量化の推進を図る。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） ごみの減量化に伴う収集・運搬路線の縮小により、収集運搬費用のコスト削減。
-----------------------------	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	一般廃棄物処理量	t/年	○ 単年	8,275	実績値	9,130	8,716	8,575				
			累計		達成率	/	/	103.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	資源物処理量	t/年	○ 単年	2,705	実績値	1,484	1,534	1,545				
			累計		達成率	/	/	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			○ 単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	611,278 千円	608,533 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	611,278 千円	608,533 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		99.55 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5511	最終処分場延命化措置対策	50,324	75%	○												環境衛生係
5511	一般廃棄物適正処理対策	9,325	82.5%	○												環境衛生係
5511	根室北部廃棄物処理広域連合負担金	428,896	72.5%	○												環境衛生係
5511 5512 5513 5514	ごみ減量・リサイクル促進事業	0	75%	○												環境衛生係
5512	一般廃棄物収集・運搬事業	119,988	82.5%	○												環境衛生係
合計 5 事業		608,533														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか ごみの減量化に向けて、広報、チラシや町内会、学校への出前講座などを実施し、ごみの分別などの指導周知を行った。また町内小中学校の最終処分場視察見学を通じて、ごみ、リサイクル等の教育を実施した。 リサイクルされる廃棄物の排出量は特に大きな変化はなく、今後もこの状況が続くと予想される。
---	---

#### 2 課題

ごみの分別による大幅な減量には繋がっておらず、今後も何らかの方策を研究していかなければならない。

#### 3 今後の方向性

本町ではごみ減量アクションプランを策定して、廃棄物の減量を目指す行動指針を制定しているが、個々の行動には限界があることから、町内会に対して資源ごみの回収等の協力を依頼している状況。  
 可燃ごみの減量化を大きな柱として定めており、今後その方針に沿った活動をさらに推進していく。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ごみの分別によるリサイクルでは、大幅な減量には繋がっていないが、今後ともリサイクル教育の充実、町内会との協力による学習会の開催など、ごみ減量アクションプランに沿った廃棄物の減量を目指し次の計画に向けた対策を検討する。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部生活課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	5	循環型社会の形成
	主要施策	2	不法投棄対策の推進
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
地域の環境保全を図り、まちの美化意識の高揚に資することを目的とする。 中標津町きれいな街にする条例を推進し、清潔で住みよいまちづくりに資することを目的とする。	不法投棄やゴミのポイ捨てをなくし、住みよい街を目指す。 ごみのポイ捨てや不法投棄を行わないきれいで住みよい街を目指す。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）		目標値 (H32)	年度	H21 実績	H27 中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
	単年	累計									
指標1	単年										
	累計										
指標2	単年										
	累計										
指標3	単年										
	累計										

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	170 千円	578 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	170 千円	578 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		340.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	事務事業 評価値	今後の方向性							担当係			
				A	B	C	D	E	F	G		H	I	
5521	中標津町きれいな街にする条例啓発	578	75%	○										環境衛生係
5522	根室管内自然の番人宣言	0	75%	○										環境衛生係
合計 2 事業		578												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">B</div>	何を実施し、どのような成果があったか 不法投棄対策を事業所による根室自然の番人宣言による監視活動や、住民や事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。 また監視カメラを購入し、不法投棄の頻繁に発生する箇所に設置した。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

不法投棄は住民や事業者の努力に関わらず相変わらず発生しており、その対策を「ねむろ自然の番人宣言」による事業所等の監視活動や、住民や事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。

#### 3 今後の方向性

監視カメラの設置を広く広報するなど有効活用して、不法投棄を抑止する。  
 また悪質な事例は、警察や関係機関と連携して、不法投棄を摘発していく。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">A</div>	評価の根拠 不法投棄については、監視パトロールの実施、「ねむろ自然番人宣言」に基づく根室管内市町との連携による不法投棄、ポイ捨ての防止を進めるなどの活動を行っていることから、今後も町民、企業などと協力して活動を推進する。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	------------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	6	上・下水道の再整備
	主要施策	2	サービスの向上
その他関連計画	中標津町水道ビジョン 中標津町下水道ビジョン		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
安心、安全で安定した水道水の供給及び公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。 管路情報の電子データ化により迅速な情報提供を行い、サービスの向上を図る。	最新の管路情報に更新することで、日常管理が適正に実施され、災害等の非常時にも迅速な対応を可能とする。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 多様な料金などの支払い方法	件	5	実績値	4	4	4				
	○ 累計		達成率	/	/	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2 水道管路台帳の電子化	%	100	実績値	-	72	72				
	○ 累計		達成率	/	/	72.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3 下水道管路台帳の電子化	%	100	実績値	0	100	100				
	○ 累計		達成率	/	/	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	4,894 千円	4,570 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	4,894 千円	4,570 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		93.38 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
5622・5671	下水道管路情報システム更新委託業務	1,804	100%	○									下水道係
5622・5671	下水道台帳作成委託業務	767	100%	○									下水道係
5622・5671	水道管情報修補正委託（水道事業）	1,565	100%	○									水道係
5622・5671	水道管情報修補正委託（簡易水道事業）	434	100%	○									水道係
合計 4 事業		4,570											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px auto;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 管路情報の電子データ化を行い、毎年データ更新を実施している。 迅速な情報提供が可能となり、サービスの向上が図られた。
---	---

#### 2 課題

上下水道料金の支払い方法について、納付方法の多様化について検討が必要。 窓口収納業務等の外部委託について、実施の可否、実施方法について検討が必要。
--

#### 3 今後の方向性

平成30年度から簡易水道施設について、電子データ化を行う予定。 上下水道の業務は専門性が高く、業務遂行には一定の経験年数が必要であり計画的な配置による人材育成を行い、サービス低下を防ぐ。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

建設水道部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px auto;">B</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 窓口収納業務等の外部委託について、導入自治体の調査、情報収集を行い本町に於ける実施可否について、検討が必要である。 上水道管路施設、下水道管路施設の電子データ化は順調に整備されている。平成30年度に簡易水道施設を行う予定となっている。これにより、本町と各電子データ化受託会社が相互で共有することになり、本町が被災を受けた場合でも、バックアップデータを入手でき緊急対応が可能となり、早期復旧体制が構築される。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	------------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	6	上・下水道の再整備
	主要施策	3	水道施設などの維持管理・更新・再整備
その他関連計画		中標津町水道ビジョン 中標津町環境基本計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
安全・安心な水道水の安定供給のため、計画的に老朽化した施設の耐震化を図り改修する。	有収率の向上及び維持管理費の低減を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 有収率(実際に使用された水量/浄水場から送り出した水量)	%	90.0	実績値	87.9	90.6	85.5				
			達成率			95.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			実績値							
			達成率							
指標3			実績値							
			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	22,786 千円	21,710 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	174,300 千円	528,030 千円	千円	千円	千円	千円
その他	2,694 千円	17,538 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	37,293 千円	131,991 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	237,073 千円	699,269 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		294.96 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5631	配水管整備事業(水道事業)	19,980	100%	○												水道係
5631	配水管整備事業(簡易水道事業)	33,448	100%	○												水道係
5631	上水道導水管改修事業	86,844	100%	○												水道係
5631	道宮畑地帯総合整備事業 ケネ力地区	227,893	100%	○												水道係
5633	メーター検定満期取替工事(水道事業)	23,512	100%	○												水道係
5633	メーター検定満期取替工事(簡易水道事業)	3,024	100%	○												水道係
5611	水道施設維持管理委託業務(上水道事業)	42,717	100%	○												浄水場
5611	水道施設維持管理委託業務(簡易水道事業)	53,887	100%	○												浄水場
5631	中標津上水道浄水施設更新事業	149,925	100%	○												浄水場
5631	中標津簡易水道浄水施設更新事業	58,039	100%	○												浄水場
合計 10 事業		699,269														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">B</div>	何を実施し、どのような成果があったか 平成16年度から平成25年度に漏水調査を行い不良箇所を修繕した結果、83%の有収率が平成27年度は90.6%へ向上したが、平成28年度は85.5%へ低下した。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

5箇所の浄水場施設及び延長484kmの配水管施設があり、古くは昭和40年代に整備したのもあり老朽化が進んでいるため漏水、断水のリスクが高い。

#### 3 今後の方向性

日常点検や定期的な診断を行い、耐用年数を見据え計画的な更新を行う。  
 平成28年度の有収率が85.5%であり、平成27年度と比較し5%落ち込んだため、漏水調査を行い、有収率の向上を図る。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

建設水道部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">B</div>	評価の根拠 上水道・簡易水道配水管整備事業については、概ね計画通りに進んでおり、今後も配水管更新事業を継続していく。 有収率低下が見られることから、以前実施していた、ブロック毎の漏水調査について、検討を行う必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div>	何を実施し、どのような成果があったか 平成28年度は貸付制度の利用者はいない。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

未水洗化の世帯は、家屋の老朽化、経済的な理由、高齢者世帯等であり水洗化率は伸びていない状況である。 汚水管の整備は、平成21年度で事業休止であり、平成24年度で新規資金貸付は終了しており、利用がない状況である。
--

#### 3 今後の方向性

新規の汚水処理区の整備時に貸付制度を再開する。 水洗化のPRを継続して行っていく。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	建設水道部長
------	--------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div>	評価の根拠 未水洗化世帯は、家屋の老朽化、経済的な理由、高齢者世帯等であり水洗化率の伸びは見込めない状況となっている。新たな、助成制度等については、既水洗化世帯との不公平感が考えられることから、既処理区内では現制度を継続する。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	------------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	6	上・下水道の再整備
	主要施策	5	下水道施設の維持管理・更新・再整備
その他関連計画		中標津町下水道ビジョン	
		中標津町環境基本計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
生活環境の向上及び公共用水域の水質保全のため、計画的に老朽化した施設の耐震化を図り改修する。	有収率の向上及び維持管理費の低減を図る。

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
	単年	累計									
指標1 下水道管路カメラ調査(全体60km)	km	○	42	実績値	1.2	21.0	24.5				
				達成率	/	/	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2				実績値							
				達成率	/	/					
指標3				実績値							
				達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	261,042 千円	111,856 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	241,900 千円	92,900 千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	227,987 千円	222,155 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	730,929 千円	426,911 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		58.41 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
5651	下水道管路施設長寿命化計画事業	6,340	100%	○												下水道係
5651	下水終末処理場施設更新・再整備事業	200,016	100%	○												下水道係
5651	下水道管路施設修繕事業	18,003	100%	○												下水道係
5651	下水道管渠清掃委託業務	913	100%	○												下水道係
5651	下水終末処理場等維持管理委託業務	183,384	100%	○												下水道係
5651	下水終末処理場施設等修繕事業	18,255	100%	○												下水道係
合計 6 事業		426,911														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>B</b>	<p>管路については、カメラ調査に基づき修繕を行い、不明水の減量が図られている。</p> <p>処理場施設についても、順次更新を行い効率や性能の良い機器にすることで、維持管理費の低減が図られている。</p>
<p>A 目標に向かって順調に進んでいる</p> <p>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる</p> <p>C 目標に向かってあまり進んでいない</p> <p>D 目標に向かって進んでいない</p>	

#### 2 課題

<p>処理場施設については、更新費用が高額となるが交付金の配分が要望どおりとならない。</p>
---

#### 3 今後の方向性

<p>下水道ビジョン及び下水道長寿命化計画に基づき、計画的な施設の更新及び修繕を行う。</p> <p>長寿命化計画からストックマネジメント計画へ移行する。</p>
---

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	建設水道部長
------	--------

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	<p>今後も、管路施設の不明水対策を継続する事により、処理場施設への負荷低減が図られ、電気使用料・薬品費などの維持管理費が縮減される。</p> <p>処理場施設更新事業については、交付金事業にて行うことから、国の財政状況を注視しながら、ストックマネジメント計画を策定し柔軟に対応していく。</p>
<p>A このまま進めてよい</p> <p>B 若干の見直し・修正が必要</p> <p>C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>
-----------------



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	西町地区の道路整備にあわせ、雨水管を整備し浸水区域が1.6ha解消された。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

浸水被害の発生している西3条北8丁目周辺の雨水管整備について、標津川河川改修事業と整合をとり整備を行う。
--

#### 3 今後の方向性

整備が必要とされる地域の水害解消のため、下水道ビジョンに基づき計画的に整備を行う。
---

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	建設水道部長
------	--------

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	住宅地での浸水区域は計画的に解消されてきたが、今後は短時間豪雨での浸水被害の解消の為、西3条北8丁目周辺の雨水管整備を標津川河川改修事業と整合を図り計画的に実施して行く。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり
----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	5	安全・安心で快適なまちづくり
	大項目	7	衛生施設の充実
	主要施策	2	中標津第2墓地の整備
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

<p><b>1 目的（何のために）</b> 町民の墓地需要に対応するため第2墓地を整備する。</p>	<p><b>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</b> 今後、増加が見込まれる墓地区画の需要を確保する。</p>
--	---

**II 施策の実施結果**

**1 成果指標達成状況**

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	中標津第2墓地造成	区画数	単年	510	実績値	360	360	360				
			累計		達成率			70.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年		実績値							
			累計		達成率							
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率							

**2 施策に係る事業費**

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	165千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	165千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%	%

**3 施策に係る事務事業一覧**

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係
				A	B	C	D	E	F	G	H	I			
5721	中標津第2墓地の整備	0	80%					○							環境衛生係
合計 1 事業			0												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	現在の墓地造成は360区画を終了しており、約5年程度の墓地需要に対応できる状況となっている。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

第2墓地拡張にあたっては、昨今のライフスタイルの変化や家族構成の変化により、新しい形態の墓が全国的に静かな広がりを見せており、町民アンケート調査の結果でも合葬墓の要望が多いことから、早急に調査研究が必要。

#### 3 今後の方向性

中標津第2墓地は、今後とも適正な維持管理を図るとともに、現在墓地需要と合わせながら今後の墓地設置のあり方について検討を行い、早期に計画を取りまとめる。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

町民生活部長

施策の進め方	
<b>B</b>	墓地の利用については、町内16箇所に設置されており市街地については2箇所となっているが、近年は墓地のあり方についても多様な意見があり、当町においても合葬墓の要望もあることから、今後の墓地設置について研究、検討を行い計画を策定する必要がある。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	1	幼児教育の充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 幼児期における教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切なものである。生きる力の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努める。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 私立幼稚園の経営の健全性を高め、幼稚園教育の充実を図るための支援を行うとともに、公立幼稚園である計根別幼稚園の運営により、地域の幼児教育の向上に努める。
---	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27 中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	1,054 千円	1,092 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	3,357 千円	3,750 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	4,015 千円	7,954 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	8,426 千円	12,796 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		151.86 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6111	私立幼稚園補助事業	4,190	90.0%	○	○											学務係
6111	計根別幼稚園管理運営費	8,606	90.0%	○												学務係
合計 2 事業		12,796														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 私立幼稚園教員の人件費に対する補助を実施することにより、経営の健全性が高められた。 計根別幼稚園への入園を希望する幼児を全て受け入れることができ、5歳児の公立・私立の幼稚園、保育園をあわせた入園率は、ほぼ100%となった。
---	--

#### 2 課題

私立幼稚園の一部が平成27年度に施行された子ども子育て支援新制度への移行を予定しており、移行後は、私立幼稚園と町立幼稚園の保育料の格差が広がることから、町立幼稚園の保育料の見直しが必要である。
--

#### 3 今後の方向性

私立幼稚園補助事業については、私立幼稚園の経営の健全性を確保する必要があり、補助制度の継続が今後も必要である。なお、子ども子育て支援新制度へ移行した幼稚園については、この補助事業の対象外となる。 計根別幼稚園管理運営費については、今後も計根別地区唯一の幼稚園であり、就学前の子どもたちの教育を確保し、義務教育及びその後の教育の基礎を培うためにも、今後も継続した幼稚園運営が必要である。
---

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・ 事業の実施により幼稚園経営の健全化が図られ、入園希望者のニーズにしている。
--	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	2	社会で生きる確かな学力の育成
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
次世代を担う子どもたちが、社会を形成する上で必要な基礎・基本を身に付け成長していけるよう「生きる力」を育み、人としての幸福感を実感できる教育を推進する。	子どもたちの学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣の定着を通じた確かな学力の向上を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	学校の授業時間以外に普段（月～金）1日当たり30分以上勉強している児童の率	%	○ 単年	90.0	実績値	67.7	77.4	86.5				
			□ 累計		達成率			96.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	学校の授業時間以外に普段（月～金）1日当たり1時間以上勉強している生徒の率	%	○ 単年	80.0	実績値	47.3	35.3	43.6				
			□ 累計		達成率			54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3	児童・生徒が適切な環境の下で学習していると感じる町民の割合（町民アンケート）	%	○ 単年	75.0	実績値	-	60.8	68.5				
			□ 累計		達成率			91.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	441 千円	950 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	446 千円	425 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	138,929 千円	143,573 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	139,816 千円	144,948 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		103.67 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係
				A	B	C	D	E	F	G	H	I			
6121	スクールバス運行経費	103,252	90.0%				○	○							学校教育係
6121	教育振興車両運行経費	12,513	80.0%	○				○							学校教育係
6121・6143	退職教員等外部人材活用事業	0	90.0%				○	○							学校教育係
6121・6126	小中一貫教育推進事業	1,086	87.5%					○							学校教育係
6122	特別支援教育支援員配置	21,741	85.0%				○	○							学校教育係
6123・6222	キャリア教育推進経費	59	95.0%	○											学校教育係
6124	語学指導等外国青年招致事業	6,297	90.0%				○	○							学校教育係
合計 7 事業		144,948													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>C</b>	学習支援ソフトウェアの導入等により、家庭学習の環境を構築したが、成果指標1の小学6年生で30分以上勉強している児童の率、成果指標2の中学3年生で1時間以上勉強している生徒の率とも目標値を下回っており、家庭学習の状況は改善されていない。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

家庭学習の定着化が図られていない影響もあり、全国学力テスト(平成28年4月実施)の結果では、小学校、中学校とも全国平均との差は縮まっているものの、依然として隔たりがある。また、授業以外の勉強時間では、全く勉強しない児童、生徒の割合は、全国平均と比較して高くなっており、特に中学生では、全国平均の5.5%に対し、11.9%となっている。

#### 3 今後の方向性

スクールバス運行経費については、運行車両数に制限があるため、路線数の増加はできないが、ハイヤー会社からの値上げ要請もあり、運行単価の増加が見込まれる。  
 教育振興車両運行経費については、学校数の減少はあるものの、各校の事業に大きな増減はないため、今後も現状と同様の予算額で推移する見込みである。  
 退職教員等外部人材活用事業については、平成29年度から北海道の派遣人数が削減されたことから、町費での配置が必要となる。  
 小中一貫教育推進事業については、義務教育学校である計根別学園の取組を検証しながら、町内全校での小中一貫教育を目指す。  
 特別支援教育支援員配置については、特別な支援を必要とする子どもの教育機会を保障するためにも、今後も必要な人員を配置する必要がある。  
 キャリア教育推進事業については、将来を考え、働くことへの意欲を高める職業教育の充実が求められていることから、今後もボランティア団体と協働しながら事業を推進する。  
 語学指導等外国青年招致事業については、外国語教育の充実と、地域レベルの国際交流の進展を図るため、今後も継続して招致する。また、小学校での外国語活動が拡充されることに伴い、増員を検討する必要がある。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

		担当部長	教育部長
施策の進め方	評価の根拠		
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の授業と家庭学習の連続性により学力の向上を目指しているが、家庭における学習習慣の定着が課題であり、効果的な方法を研究する必要がある。</li> <li>高等学校への進学率が高くなる一方で、地域においては定員に達しない高校が多く、入学者選抜学力検査で受検者全員が合格するなど、高校進学が学習の目的とならないことも、学力低下の一因となっている。</li> </ul>		
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要			

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価(自己評価に対する意見等)

外部評価対象外



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	<p>道徳教育推進校事業については、子どもたちの発達の段階に応じた道徳教育の充実により、生命の大切さや他人を思いやる心などが醸成された。</p> <p>スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置により、児童生徒や保護者の悩みを受けとめ、学校におけるカウンセリング機能の向上が図られた。</p> <p>小・中学校体育活動補助の支出により、児童生徒が体育活動を通して心身ともに健全に成長し、技能及び体力の向上が図られた。</p> <p>中標津町食育推進事業については、地元食材への興味が深まり、野菜嫌いの児童の減少につながった。</p> <p>地域ぐるみの学校安全体制整備(スクールガード)推進事業については、スクールガードリーダーによる学校への指導助言により、児童生徒の登下校時や学校管理下における事件・事故の防止が図られた。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<p>道徳教育推進校事業については、平成28年度をもって事業終了したため、課題なし。</p> <p>スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置については、道の予算額の減少により、活動時間が減少している。</p> <p>小・中学校体育活動補助については、小学校体育振興会で実施する競技種目が減少している。</p> <p>中標津町食育推進事業については、教育効果が高く、学校から事業拡充の要望が多い。</p> <p>地域ぐるみの学校安全体制整備(スクールガード)推進事業については、指導者が高齢のため、後継者の選定が急がれる。</p>
---

#### 3 今後の方向性

<p>道徳教育推進校事業については、平成28年度をもって北海道からの委託事業終了。</p> <p>スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業、スクールカウンセラー活用事業、地域ぐるみの学校安全体制整備(スクールガード)推進事業については、道の補助、委託事業により実施しており、事業の成果が見られるため、今後も道の事業を活用しながら継続する。</p> <p>小・中学校体育活動補助金については、陸上競技記録会や各種大会への参加により、児童生徒の運動能力及び体力向上に役立っており、今後も補助を継続する。</p> <p>中標津町食育推進事業については、地場産の野菜に興味を持ち、地産地消、食育の学習に多大な効果があることから、平成29年度から全校で実施する。</p>
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

施策の進め方	評価の根拠	担当部長	教育部長
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の充実により規範意識の醸成や自己肯定・他者を思いやる心を育成できる。</li> <li>本町の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校すべてにおいて、悩みを抱える児童生徒が増加しており、スクールカウンセラーの派遣要請が年々増加しているが、有資格者が少なく要望に十分応えられない状況となっている。確保に向けて関係機関と連携する必要がある。</li> </ul>		
A このまま進めてよい			
B 若干の見直し・修正が必要			
C 大幅な見直し・修正が必要			

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価(自己評価に対する意見等)

<p>外部評価対象外</p>
----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	信頼される学校づくりの推進
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
開かれた学校づくりへの取組が求められていることから、地域の人材活用や連携協力により地域全体で学校を支援する体制を構築する。	学校、保護者、地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年			実績値							
	累計			達成率							
指標2	単年			実績値							
	累計			達成率							
指標3	単年			実績値							
	累計			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	160千円	61千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	976千円	373千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,136千円	434千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		38.20%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6141	教育活動奨励報償金（小・中）	200	82.5%											○		学校教育係
6142	学校評議員設置	50	87.5%			○								○		学校教育係
6142	コミュニティ・スクール導入等促進事業	184	92.5%											○		学校教育係
6121・6143	退職教員等外部人材活用事業	0	90.0%					○	○							学校教育係
合計 4 事業			434													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>B</b>	<p>教育活動奨励報償金の支出により、研究実践校での授業改善が図られ、教育力の向上が図られた。</p> <p>学校評議員設置、コミュニティ・スクール導入等促進事業については、地域や保護者の意見が学校運営に反映され、学校、地域、保護者が一体となった「地域とともにある学校づくり」が推進された。</p> <p>退職教員等外部人材活用事業については、少人数指導、チームティーチングによるきめ細やかな指導により、児童生徒の学習意欲の向上が図られた。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<p>教育活動奨励報償金については、研究成果を向上させるため、町内の統一性及び他校との連携による充実を図る必要がある。</p> <p>学校評議員設置については、中標津農業高等学校のみとなるため、コミュニティ・スクール導入を検討する。</p> <p>コミュニティ・スクール導入等促進事業については、平成29年度中に小中学校全校でコミュニティ・スクールが導入されることから、将来の中学校区での設置に向けて検討する。</p> <p>退職教員等外部人材活用事業については、道の配置枠が減少しているため、学校が希望する人員を配置できていない。</p>
--

#### 3 今後の方向性

<p>教育活動奨励報償金(小・中)については、教員の研修研究体制の充実が今後も必要であることから、継続して実施したい。</p> <p>学校評議員設置については、コミュニティ・スクールへの移行により制度の見直し、改善を進める。</p> <p>コミュニティ・スクール導入等促進事業については、平成29年度中に全ての小中学校で導入を予定しており、更なる事業の推進を図る。</p> <p>退職教員等外部人材活用事業については、平成29年度から道の派遣人数が削減されたことから、町費での配置を検討する。</p>
--

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、地域、保護者が一体となり、より良い学校経営の実現により、「地域とともにある学校づくり」が推進されている。</li> <li>退職教員等外部人材活用事業については、学力向上対策の観点から道の派遣人数の削減分を町費で配置すべきとの方向性をもっている。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>
----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	信頼される学校づくりの推進
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 地域全体で学校教育を支援するため。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 学校現場でこの事業が活用され、学校教育活動の向上すること。
----------------------------------	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 学校支援ボランティアの登録者数	人	○ 単年 累計 35	実績値	22	29	15				
			達成率			42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2 学校支援ボランティアの利用回数	回/年	○ 単年 累計 60	実績値	41	40	44				
			達成率			73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3		○ 単年 累計	実績値							
			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	21 千円	20 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	11 千円	13 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	32 千円	33 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		103.13 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6143	学校支援地域本部事業	33	72.5%	○									社会教育係
合計 1 事業			33										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">B</div>	何を実施し、どのような成果があったか 登録ボランティアの派遣により、教員の負担を軽減をはじめ、学校のねらいに対して人的補助を行うことができた。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

登録ボランティアの充実。

#### 3 今後の方向性

学校の要望へできる限り応えられるよう、登録ボランティアの更なる充実を進めるとともに、将来移行が考えられる地域学校共同本部について研究する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">A</div>	評価の根拠 ・ 多忙化する教員に対する支援により、児童生徒との関わりの時間が確保されている。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 学校の屋内体育館については、H24年度をもって全ての学校の耐震化が完了した。計根別小・中学校(計根別学園)の校舎・屋内体育館についても危険改築として平成25年度から施工し、平成26年10月に校舎、平成27年10月に屋内体育館、平成28年11月に外構工事が完成した。今年度は、旧計根別小学校校舎・屋内体育館を解体する。 町立の幼稚園・学校に設置されている遊具については、年次計画で、危険遊具の撤去、代替遊具の新設、不良遊具の改修を行っている。
---	---

#### 2 課題

木造平屋の校舎を有する俵橋小学校については、統廃合の方向性がまだ決まっていない。
--

#### 3 今後の方向性

木造平屋の校舎を有する俵橋小学校については、統廃合の方向性がまだ決まっておらず、教育委員会としては、情報提供するとともに地域協議を働きかけているところである。 計根別地区学校施設整備事業という大きな事業が、平成29年度で完了するので、次の整備事業について検討を進める。
---

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長
------

教育部長
------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木造の俵橋小学校校舎を除く、町内すべての小・中学校の校舎及び屋内体育館を計画的に耐震補強し、児童生徒の安全、安心を確保した。</li> <li>・ 町立の幼稚園・学校に設置されている遊具については、年次計画で、危険遊具の撤去、代替遊具の新設、不良遊具の改修を進めている。</li> <li>・ 計根別学園の建設工事については、平成28年度で外構工事を含めてすべて完了し、平成29年度は旧計根別小学校の校舎・屋内体育館の解体及び外構の解体整備となっている。</li> </ul>
--	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	5	学校施設の整備・充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
教育用コンピューターの整備により、情報通信技術を活用した教育の充実を図る。また、校務用コンピューターの整備により、教職員の事務の効率化を図る。	教育用コンピューターにおいては、次世代を担う子ども達に、高度情報化社会に対応できる力や、情報を主体的に取捨選択し、活用・発信する能力を身につけさせる。また、校務用コンピューターにおいては、教員の事務負担軽減のため、校務の効率化に加え、情報の共有化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	教育用コンピューター1台あたりの児童生徒数	人/台	○ 単年	3.6	実績値	5.8	8.8	8.9				
			累計		達成率			40.4%				
指標2	学校の超高速・高速インターネット接続率	%	○ 単年	100.0	実績値	53.0	100.0	100.0				
			累計		達成率			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3	学校における教育用コンピューターの活用時数	時間	○ 単年	小低学年10 小中学生年15 小高学年25 中学生35	実績値	-	小低5 小中10 小高20 中学30	小低5 小中10 小高20 中学30				
			累計		達成率			小低50.0% 小中66.7% 小高80.0% 中学85.7%				

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	31,925 千円	40,309 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	31,925 千円	40,309 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		126.26 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性							担当係	
				A	B	C	D	E	F	G		H
6153	教育用コンピューター整備(小・中)	36,870	87.5%	○	○	○						学務係
6153	校務用コンピューター整備(小・中)	3,439	90.0%	○								学務係
合計 2 事業		40,309										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 10px auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 教育用コンピューターについては、平成26年度に2中学校、計根別学園、平成27年度に5小学校の整備により、児童生徒の情報技術を使いこなす能力、情報を読み解き活用する能力である情報リテラシーが醸成された。 また、学校の超高速・高速インターネット接続については、上記整備時に町内全校で完了している。
--	---

#### 2 課題

文部科学省が定める教育のIT化に向けた環境整備計画に定める整備指針である、コンピューター教室40台、超高速インターネット接続率及び無線LANの環境は整備されたものの、普通教室、特別教室への整備や設置場所を限定しない可動式コンピューター40台の整備などは、実現していないことから、次回の更新時には、これらの整備を推進する必要がある。

#### 3 今後の方向性

新学習指導要領で、情報通信技術教育の必要性が示され、特に情報を主体的に取捨選択し、活用・発信する能力や、情報をめぐるルールやモラルの問題に積極的に対応できる能力を身につけさせる必要があることから、今後も5年毎の更新を基本に教育用コンピューターを更新したい。  
 また、校務用コンピューターについても、計画的に更新したい。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 10px auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の小学校、中学校、義務教育学校には、最新の教育用コンピューターを配置し、超高速インターネット接続及び無線LANの環境が整備された。</li> <li>・ 今後、情報環境やニーズの変化に対応した機器整備についても、方向性を持っている。</li> </ul>
---	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食センター施設及び機器等の更新については、計画的に更新が進められている。</li> <li>学校給食の充実では、安全安心な食材を使い、バランスの取れた給食の提供ができた。</li> <li>地場産物の活用については、中標津産の牛肉、じゃがいも、たまねぎ、大根などの食材を使い地産地消の給食を提供でき、児童・生徒は、地域の農業団体や生産者と関わりにより地場食材への興味や関心が高められた。</li> <li>給食費の徴収率は、年々上昇しており、特に27年度は、生活保護費からの代理納付により生活保護世帯からの徴収率が向上した。</li> </ul>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は、食器の入替、エアコンの取替、高圧受電設備の改修等を行ったが、建設から33年が経過し、食器消毒保管庫の老朽化が著しいが、経費の増大に付き、予算の目途が立たない状況である。</li> <li>給食費については、一部の保護者の滞納が慢性化しており、文書や個別訪問等に対応しているが、思うような成果が出ていない。また生活保護世帯について、生活保護費からの代理納付により、新たな滞納額の発生防止には効果があったが、今までの滞納額の解消までは至っていない。</li> </ul>
--

#### 3 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した大型調理器やボイラー、食器消毒保管庫、トイレ改修(保健所指摘事項)を優先に継続して実施していく。第6期総合発展計画後期計画に掲げた学校給食センターのあり方、移転改築の方向や運営方法の検討を行い、第6期終了までに計画を立ち上げる。</li> <li>給食費については、低所得者層に対しては、準要保護制度の積極的な周知により、滞納額を抑制するとともに、要保護(生活保護)者への代理納付制度を活用し、現年度分の滞納解消と粘り強い個別徴収を行い、収納率の向上に努める。徴収業務の一元化を検討し、私債権の回収の強化を図る必要がある。</li> </ul>
--

#### 4 施策の進め方の評価

#### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の改修及び機器等の更新については、計画的に進められている。</li> <li>安全安心な食材を使い、バランスの取れた学校給食を提供できた。</li> <li>中標津産の牛肉、じゃがいも、たまねぎ、大根などの食材を使い地産地消の給食を提供でき、児童・生徒は地域の農業団体や生産者との関わりにより地場食材への興味や関心が高められた。</li> <li>給食費の徴収率向上のため、申込み制を導入するなど創意工夫が認められる。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価(自己評価に対する意見等)

<p>外部評価対象外</p>
----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会管理課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	7	学校規模の適正化
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
道路交通網の整備などによって市街化地区への人口流動が進み、加えて急速な少子化の進行や離農により農村地域の児童・生徒は減少し、学校の統廃合が行われている。このため、児童・生徒が健全な学校生活を送れるよう、少人数になり、将来的に集団生活における教育活動の成立が難しいという判断がなされる学校については、地域と十分協議した上で統合するかどうかを最終決定する。	ある学年の人数が0名という「欠学年」を生じている、または全校生徒が10人に満たない状況では、集団生活における教育活動の成立が難しいという観点から、判断基準として次のような状況にあれば、統廃合に向けて地域と協議することとしている。 ①6学年の内1学年でも欠学年が生じている場合。 ②6学年で12名を割る状況で、その後も増加の見込みがない場合。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性								担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H		I
6171	学校規模の適正化事業	0	87.5%	○									総務係
合計		1	事業										
		0											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 地域との協議の結果、近年では、平成23年度に養老牛小学校が、平成24年度に俣落小学校が、平成25年度に開陽小学校及び武佐中学校が統合のため閉校した。平成27年4月には、計根別小学校、西竹小学校、計根別中学校の3校が統合し計根別学園として開校した。平成28年度は、武佐小学校が統合のため閉校した。
---	---

#### 2 課題

「1達成状況」のとおり、郡部校の統合による閉校が進んだため、郡部校は俣橋小学校のみとなった。
--

#### 3 今後の方向性

地域の要請があれば、協議する。
-----------------

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・ きめ細かな指導ができる小規模校のメリットと、集団活動が難しいデメリットを勘案し地域が望む学校像を理解しつつ、存続基準である欠学年がないこと、全校児童が12名を割らないことを基に、地域の話し合いによる要望に応えている。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会管理課	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------	-------	-----------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	8	教育関係団体への補助
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
教育関係団体が実施する教育活動への助成を行うことで、本町の教育の一層の振興発展を図る。	本町の教育の一層の振興発展を図る。

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				実績	中間実績					
指標1	単年 累計		実績値							
			達成率							
指標2	単年 累計		実績値							
			達成率							
指標3	単年 累計		実績値							
			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	613 千円	607 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	613 千円	607 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		99.02 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6181	教育関係団体への補助	427	92.5%	○									総務係
6182	北海道中標津高等養護学校後援会活動補助	180	92.5%	○									総務係
合計 2 事業		607											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>A</b>	中標津町教育研究会、中標津町小中学校校長会、中標津町小中学校教頭会に、教職員の専門性を高め日常の実践に活かすための研修や、作品展や音楽発表会の実施に係る経費の一部を補助する。また、北海道中標津高等養護学校の後援会活動に対し助成することで、特別支援教育活動を援助し、生徒の社会自立に寄与する。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

それぞれの教育団体は、毎年総会等により決定した事業計画に基づき活動しており、補助金に対しての成果指標はなじまないと思われる。補助は前年度の事業実績により予算措置しており、予算内で申請要望の100%補助ができています。 高等養護学校後援会は毎年総会等により決定した事業計画に基づき活動しており、補助金に対しての成果指標はなじまないと思われる。定額補助であるため、補助金に対する達成状況の評価も困難である。 助成した額はそれぞれの事業において有効に活用されているものと判断している。
---

#### 3 今後の方向性

3団体の活動は本町の教育行政方針の具現化、教育行政の推進に欠かせない活動であり、その組織運営活動に係る財政的支援は、それぞれの会員である教員の個人的負担を軽減するためにも必須と考える。 また、北海道中標津高等養護学校は、道立学校とはいえ根室管内唯一の特別支援学校であることから、今後においても地元である中標津町からの後方支援は必要と考える。
---

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	教育部長
------	------

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中標津町教育研究会、中標津町小中学校校長会、中標津町小中学校教頭会に対し、教職員の研修、作品展や音楽発表会の実施に係る経費の一部を補助することにより、活動の推進が図られている。</li> <li>北海道中標津高等養護学校の後援会活動に対する補助は、特別支援教育活動を援助し、生徒の社会生活の自立が促進されている。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	貸付基準を満たしている貸付希望者には100%貸付できている。 高校: 120千円/年(入学一時金100千円) 高専: 180千円/年(入学一時金150千円) 専修・短大・大学: 240千円/年(入学一時金200千円)
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

新規で申込みする希望者数を把握することが困難であるため、年度によっては当初予算額で足りなくなることがある。足りなくなる場合にあっては、補正予算で対応している。
---

#### 3 今後の方向性

本町の育英資金利用者は、制度創設以来1,000人を超え、向学意欲のある学生の上級学校進学のための助成制度として定着しており、今後も必要な施策と考える。
---

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得が一定基準を下回る家庭の子どもたちが、義務教育卒業後に進学した際に、無利子の育英資金は学費や生活費として有効に活用されている。</li> <li>支給型の奨学金については、国や道の動静を見ながら研究していきたい。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	9	経済的負担の軽減、奨学金制度の充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」とされており、経済的に困難を抱える世帯や若年世帯の子どもに対する教育の機会均等を保障する観点から、保護者負担の軽減、扶助を行う必要がある。	家庭の経済状況が子どもの将来を左右しないよう、保護者負担の軽減、扶助の実施により、教育の機会均等を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	実績値	達成率			実績	中間実績					
指標1	単年										
	累計										
指標2	単年										
	累計										
指標3	単年										
	累計										

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	15,269 千円	18,135 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	63,530 千円	68,262 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	78,799 千円	86,397 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		109.64 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係
				A	B	C	D	E	F	G	H	I			
6191	幼稚園就園奨励費補助	52,702	90.0%	○											学務係
6191	義務教育扶助費(小・中)	30,012	90.0%	○											学務係
6191	義務教育保護者負担軽減(小・中)	3,683	90.0%	○	○	○									学務係
合計 3 事業			86,397												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	<p>国の制度に基づき、幼稚園就園奨励費補助、義務教育扶助を実施しており、経済的に困難を抱える世帯や若年世帯の子どもに対する教育の機会均等が図られた。</p> <p>また、町の単独事業である副教材に係る保護者負担の軽減の実施により、経済的な負担の軽減がされた。</p>
<p>A 目標に向かって順調に進んでいる</p> <p>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる</p> <p>C 目標に向かってあまり進んでいない</p> <p>D 目標に向かって進んでいない</p>	

#### 2 課題

幼稚園就園奨励費補助については、国の補助制度の拡充により、義務教育扶助については、対象世帯の増加により、義務教育保護者負担軽減については、補助単価の増加により、それぞれ町の財政負担が増加する懸念がある。

#### 3 今後の方向性

義務教育扶助費については、経済が悪化すると、就学援助を受ける保護者が増える傾向にある。また、当町では未支給となっていた、生徒会費、クラブ活動費、PTA会費について、平成29年度から支給を開始する。

義務教育保護者負担軽減費については、消費税率の改定等により、実質的な補助金額が目減りしていることから、現在の補助単価(小学校@1,480円、中学校@1,980円)の引き上げの要望があり、継続的予算の確保と補助単価の引き上げについて検討が必要である。

幼稚園就園奨励費補助については、国の制度拡充により、補助単価の引き上げや支給対象者が拡大されており、町の財政負担が増えている。しかしながら、未就学児に対する教育充実の観点から、今後も事業の継続が必要である。なお、私立幼稚園の子ども・子育て支援制度への移行により、将来的には補助が不要となる見込みである。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園就園奨励費補助により、基準所得以下の世帯の子どもに対して就学機会を確保している。</li> <li>義務教育扶助費の支給により、準要保護世帯の負担軽減が図られた。</li> </ul>
<p>A このまま進めてよい</p> <p>B 若干の見直し・修正が必要</p> <p>C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	10	町立中標津農業高校の充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために) 本町の基幹産業である農業に関わる教育を通じ、人材育成と高校教育の充実を図る。 海外研修を行い、社会の国際化に対応できる知識を身につける。 将来社会に出たときに活用できる資格を取得し、進路決定を有利にする。 地元において農産物の加工・販売の知識と技術を学びながら、地域との交流を深め農業高校の活動をPRする。	2 求める成果(どのような成果を期待するか) 高校または大学を卒業した後の進路として、自身が身に付けた技術や知識を活かして地元の企業に就職し、町の活性化の一翼を担う。 生徒の高校生活がクラブ活動などにより充実したものとなる。
---	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 卒業後の進路内定率(進学率・就職率)	%	97	実績値	91.0	100.0	100.0				
			達成率			103.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2 資格取得達成度(資格取得数/卒業生)	件/人	180/30	実績値	131/22	153/33	198/35				
			達成率			-0.3				
指標3 中標津農業高校の生徒数	人	100	実績値	74	87	77				
			達成率			77.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	6,228 千円	5,797 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	6,228 千円	5,797 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		93.08 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性											担当係
				A	B	C	D	E	F	G	H	I			
61101	農業高校通学費補助	2,790	92.5%				○				○			事務係	
61101	農業高校教育実習扶助費	183	92.5%				○				○			事務係	
61103	海外派遣研修事業	2,154	97.5%	○										事務係	
6332	農業高校クラブ補助	670	95%	○										事務係	
合計 4 事業			5,797												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	<p>農業高校の運営検討委員会で協議し、生徒確保対策の一つとして保護者の経済的負担軽減のため、平成29年度から従来の条件のもと通学費の全額補助、実習服等の扶助を実現し、平成28年度新入生が14名と激減した状態から平成29年度の新入生数が31名まで回復した。</p> <p>クラブ活動においては、これまでの活動が認められ、総務省所管の「ふるさとづくり大賞」団体賞を受賞した。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

農家戸数の減少や少子化等の影響から中学卒業生の数が減少しており、本校を進学先として選択する中学卒業生の確保が課題である。

農業実習施設や体育館の老朽化が進んでおり、計画的な施設整備が急務となっている。

#### 3 今後の方向性

地域産業の発展に結びつく農業高校における農業教育を充実させる。

さらに、近年社会的に成長している6次産業など社会のニーズに沿った教育を充実させ、魅力ある学校づくりを推進する。「計根別食育学校」など地域との連携事業を充実させ、農業高校の活動について地域住民の理解を深める。

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設設備の更新、改修を計画的に実施し、教育活動を推進している。</li> <li>体育館や牛舎、乳加工室など大規模施設の整備については、学校経営の基本となることから、早期に整備計画を策定したい。</li> <li>教育活動を充実させるためには生徒確保が必須であり、そのための魅力ある学校づくりと就学支援対策で、相互に目的でもあり方法でもあることから、学校現場の苦労がうかがえる。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

農業高校の生徒の活躍実績について、その良さを生徒募集のPRとして活用していく。

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会中標津農業高等学校	作成年月日	平成29年7月3日
-------	----------------	-------	-----------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	1	学校教育の充実
	主要施策	10	町立中標津農業高校の充実
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標4 実習生産物売払収入額	千円/年	6,000	実績値	5,883	5,286	7,341				
			達成率			122.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	単年	実績値	実績値							
			達成率							
単年	累計	実績値	実績値							
			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I					
合計		事業															

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<p>A 目標に向かって順調に進んでいる</p> <p>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる</p> <p>C 目標に向かってあまり進んでいない</p> <p>D 目標に向かって進んでいない</p>	

#### 2 課題

#### 3 今後の方向性

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

施策の進め方	評価の根拠
<p>A このまま進めてよい</p> <p>B 若干の見直し・修正が必要</p> <p>C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	2	青少年の健全育成
	主要施策	1	青少年健全育成体制・環境の整備
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
少子高齢化や核家族化の進行、それに伴う家族や地域の教育力の低下、さらには、携帯電話やインターネット等、高度情報化の進展等により、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、全国的に様々な問題が生じていることから、非行防止活動等を推進するとともに家庭、地域の教育力の向上を図る。	青少年健全育成推進団体への活動支援により、活動の活性化を図るとともに、非行や問題行動の予防を図り、青少年を地域で守り育てる環境をつくる。

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	青少年を見守る活動に参加している町民の割合（町民アンケート）	%	○ 単年	20.0	実績値	—	8.8	12.2				
			累計		達成率			61.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	全児童生徒数に占める長期欠席（不登校）の児童生徒の率（%）	%	○ 単年	0.5	実績値	0.9	1.1	1.5				
			累計		達成率			33.3%				
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	345 千円	372 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	345 千円	372 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		107.83 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性								担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H		I	
6211	青少年健全育成推進費	372	87.5%	○										学校教育係
合計 1 事業			372											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>C</b>	<p>家庭や地域が一体となって取り組むことにより、青少年を見守る活動に参加している町民の割合は増加している。</p> <p>不登校については、関係機関が協力して様々な施策に取り組んでいるものの不登校率は増加している。</p>
<p>A 目標に向かって順調に進んでいる</p> <p>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる</p> <p>C 目標に向かってあまり進んでいない</p> <p>D 目標に向かって進んでいない</p>	

#### 2 課題

<p>青少年を見守る活動に参加している町民の割合の増加については、コミュニティ・スクールの推進などにより、家庭や地域が一体となって取り組む必要がある。</p> <p>不登校対策については、各学校、関係機関が更なる連携により情報を共有し、取り組んでいかなければならない。</p>
--

#### 3 今後の方向性

<p>青少年健全育成推進経費については、学校や行政の取組だけでは限界があるため、家庭や地域が一体となって取り組む体制づくりが必要であり、今後は、地域全体で青少年を守り育てていくという考え方に立った施策が必要である。</p> <p>不登校対策については、各学校、関係機関が連携して取り組んでいるが、年々増加している現状にあるため、小中一貫教育の推進など様々な施策の実施により、中1ギャップの解消など、不登校の要因を取り除く取組を推進する。</p>
--

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年健全育成推進団体への活動支援により、非行や問題行動の予防に努めている。</li> <li>地域住民の関心は高まっているが、実際に活動する住民は少なく、今後は組織の強化を進めるための支援が必要と考えられる。</li> </ul>
<p>A このまま進めてよい</p> <p>B 若干の見直し・修正が必要</p> <p>C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>
--------------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>
----------------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	作成年月日	平成29年6月30日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	2	青少年の健全育成
	主要施策	2	青少年の体験・交流活動の促進
その他関連計画			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 子どもたちが将来自立した社会人となるための基盤をつくるためには、学校の努力だけではなく、子どもたちにかかわる家庭・地域が学校と連携して、同じ目標に向かう協力体制を築くことが不可欠であるため、関係機関と協力しながら、子どもたちの体験活動の機会の充実に努める。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 様々な体験活動を通して、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤を育む。
---	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 職業体験・職業講話等の社会参加活動を行った学校の率	%	単年	70.0	実績値	35.7	36.4	44.4				
		累計		達成率			63.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2		単年		実績値							
		累計		達成率							
指標3		単年		実績値							
		累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	102 千円	92 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	102 千円	92 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		90.20 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係			
				A	B	C	D	E	F	G		H	I	
6221	少年の主張大会開催	33	80.0%	○										学校教育係
6221	中学生議会	0	92.5%					○						学校教育係
6123・6222	キャリア教育推進経費	59	95.0%	○										学校教育係
合計 3 事業			92											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	職業体験・職業講話等の社会参加活動により、職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力が育成された。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

キャリア教育については、主に中学校が行っていることから、今後は、小学校の段階から実施できるよう、関係機関とも連携しながら検討する必要がある。
--

#### 3 今後の方向性

少年の主張大会、中学生議会については、子どもたちが日常生活における体験や将来に向けての希望などを広く訴えることにより、少年の健全育成に対する一般の理解が深めるため、今後も継続して実施する。 キャリア教育推進事業については、将来を考え、働くことへの意欲を高める職業教育の充実が求められていることから、今後もボランティア団体と協働しながら事業を推進する。
--

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自己の意見や主張を論理的に発言することは、社会人になるための大切な学習であり、その成果は大きい。</li> <li>職業体験・職業講話等の社会参加活動では、自分が暮らす地域の身近な企業人の体験談や職業観を聞くことができ将来の進学や就職の大きな助言となる。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	2	青少年の健全育成
	主要施策	2	青少年の体験・交流活動の促進
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 青少年の体験・交流活動の促進。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 子どもたちのふるさと意識を高め、地域の中で健やかに育つこと。
--------------------------------	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	20千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	869千円	869千円	千円	千円	千円	千円
事業費	869千円	889千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		102.30%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6221	青少年健全育成活動	189	75%	○												社会教育係
6221	都市間児童生徒交流事業	700	75%	○												社会教育係
合計 2 事業		889														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	事業の実施により、通常では得難い体験や、活動の補助をすることができた。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

一部参加者の減っている事業が見受けられたので、内容の検討が必要。

#### 3 今後の方向性

事業内容を精査し、よりよい体験プログラムを構築し、さまざまな体験ができる事業を展開する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	・ 本町の子どもたちが、遠く離れた都市の子どもたちと交流することで、自信を持ち、将来の夢を具体化する事業となっている。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	1	生涯学習講座の充実
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 生涯学習のまちづくりを実現するための研修講座を実施する。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 参加者が学習成果を様々な場面で活かし、生きがいにあふれた元気なまちづくりの実践者となること。
---	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				実績	中間実績					
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	12,413 千円	10,770 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	211,147 千円	215,519 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	223,560 千円	226,289 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		101.22 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6311	生涯学習研修講座	30	75%	○									社会教育係
6311	社会教育施設運営管理事業（指定管理）	226,259	80%	○									社会教育係
合計 2 事業		226,289											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

<b>施策の進行</b>	<b>何を実施し、どのような成果があったか</b>
<b>A</b>	教育委員会実施の生涯学習研修講座と、指定管理者による総合文化会館、図書館、交流センターにおける各種事業の実施により、生涯学習活動が推進された。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

講座等で学んだ知識や技術を次にどう生かすことができるのか、学習成果を地域へ還元できる機会作りが必要である。
---

#### 3 今後の方向性

優秀な講師の発掘や、充実した事業実施のため常によりよい内容の検討を継続して行う。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長	教育部長
------	------

<b>施策の進め方</b>	<b>評価の根拠</b>
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会が主催する生涯学習研修講座に多くの町民が参加している。</li> <li>指定管理者による運営管理を実施している総合文化会館、図書館、交流センターは、各種事業が開催され多くの町民が参加し、本町の生涯学習活動が推進されている。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	2	生涯学習情報の提供
その他関連計画	中標津町生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
「生涯学習だより」の発刊。	町民の生涯学習活動への参加者が増えること。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 らいふまっぶの町民満足度(町民アンケート)	% ○ 単年 累計	50	実績値	-	34.4	41.0				
			達成率	/	/	82.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	単年 累計		実績値							
			達成率	/	/					
指標3	単年 累計		実績値							
			達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,190 千円	3,190 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	3,190 千円	3,190 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性							担当係				
				A	B	C	D	E	F	G		H	I		
6321	「生涯学習だより」発刊事業	3,190	75%	○											生涯学習指導班
合計 1 事業		3,190													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 主に町民を対象に、民間情報も含め、各施設などの情報を一元化した「生涯学習らいふまっぷ」の全戸配布を行い、生涯学習情報を提供した。
---	--

#### 2 課題

なし。

#### 3 今後の方向性

継続して事業を実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・生涯学習情報紙「らいふまっぷ」は最新の生涯学習情報を毎月提供し、町民の生涯学習活動の重要な情報源となっている。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	3	生涯学習団体への支援
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町の文化スポーツ振興のために社会教育関係団体及び個人について活動の支援を行う。	財政的支援により文化スポーツの普及振興を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				実績	中間実績					
指標1	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	9,105 千円	9,584 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	9,105 千円	9,584 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		105.26 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6331	文化スポーツ振興事業等補助金	1,475	75%	○												社会教育係
6332	児童生徒遠征費補助金	8,109	80%	○												社会教育係
合計 2 事業		9,584														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか ・一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団への補助。 ・地区大会により全道大会又は全国大会への出場が決定した場合の補助。 これらを行ったことにより文化スポーツ振興のが図られた。
---	--

#### 2 課題

補助額については、時代に即した額の検討が常に必要である。

#### 3 今後の方向性

継続して事業を実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・本町の生涯学習活動の一翼を担う一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団本部とNPOなかしべつスポーツアカデミーへの運営費補助により、組織強化が図られ町民の生涯学習活動の活性化が進んでいる。 ・地区大会により全道大会又は全国大会への出場が決定した小中学生と指導者に対して遠征費の一部を補助し、文化、スポーツ活動の振興が図られている。
--	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	4	生涯学習関連施設の充実
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 町民が生涯学習活動を実践する上で必要な施設を維持する。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 運営の充実を図ることで町全体の生涯学習振興を図る。
--	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	緑のふるさと研修舎・生涯学習研究所利用者数	人/年	○ 単年	6,000	実績値	5,824	4,774	4,944				
			累計		達成率	/	/	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	図書貸出数	冊/年	○ 単年	165,000	実績値	144,707	140,487	143,601				
			累計		達成率	/	/	87.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			○ 単年		実績値	/	/					
			累計		達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	12,992 千円	11,393 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	225,379 千円	217,232 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	238,371 千円	228,625 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		95.91 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6341	生涯学習研究所運営管理	1,333	75%	○												社会教育係
6342	緑のふるさと研修舎運営管理	794	75%	○												社会教育係
6342	社会教育施設等環境整備事業	239	80%					○								社会教育係
6343	社会教育施設運営管理事業（指定管理）	226,259	80%	○												社会教育係
合計 4 事業		228,625														

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 10px auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 生涯学習課においては、生涯学習研究所(若竹の里)及び緑のふるさと研修舎の運営管理を行った。施設の利用により体験型生涯学習活動が促進された。 ※総合文化会館、図書館、交流センターについては指定管理者制度を導入している。
--	---

#### 2 課題

老朽化が進んだ施設の修繕及び更なる利用促進。

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 10px auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・教育委員会が直営管理する生涯学習研究所(若竹の里)及び緑のふるさと研修舎により、体験型生涯学習活動の推進が図られている。 ・指定管理者による運営管理を実施している総合文化会館、図書館、交流センターは、各種事業が開催され多くの町民が参加し、本町の生涯学習活動が推進されている。
---	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	5	郷土館の充実
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
郷土に関する資料や調査研究の成果を、展示や広報、学校や地域への学習支援等の方法により町民に提供し、町民の教育・文化・学術の振興と発展を図る。	町の自然や歴史、文化についての興味関心を高め、理解が深まること。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	郷土館施設及び事業利用者数	件/年	○ 単年	11,000	実績値	35,436	18,503	10,348				
			累計		達成率			94.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	郷土館インターネット活用事業閲覧件数	件/年	○ 単年	60,000	実績値		246,557	491,619				
			累計		達成率			819.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			○ 単年		実績値							
			累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,222 千円	3,286 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	3,222 千円	3,286 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		101.99 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性											担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I				
6351	中標津町郷土館運営管理	3,286	85%	○												学芸係
6352	中標津町郷土学習研究会育成	0	82.5%	○												学芸係
6353	中標津町郷土館ホームページ設置	0	85%	○												学芸係
合計 3 事業			3,286													

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	<p>【教育普及事業】観察会及び自然体験事業(6回)、講演会等・学習支援(16回)</p> <p>【広報】郷土館だより発行(1回)、らいふまっぷに連載(9回)、インターネットの活用[HP,FB,Blog,twitter](随時)</p> <p>【特別展】4回実施</p> <p>【調査研究】歴史・自然関係の調査、郷土写真のデジタル化ほか</p> <p>【管理運営】収蔵資料貸出(9件)、資料受け入れ、管理及びその他の事務</p> <p>【その他】セイヨウオオマルハナバチの駆除(随時)、中標津町保存樹木看板作成設置(3枚)、友の会の支援</p> <p>郷土に関する資料や調査研究の成果を、各種事業の実施により町民に提供することができた。</p>
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

施設の老朽化・狭隘化しているので、施設の建替えが必要。  
学芸職員の整備及びスキルアップ。

#### 3 今後の方向性

事業は継続して実施。  
施設整備と人員体制の整備を進めていきたい。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた職員により多くの事業を展開し、町民の郷土愛の醸成に努めている。</li> <li>今後、博物館建設構想の策定にあたっては、博物館施設の有効活用を図るような郷土館事業の見直しを行い構想に盛り込む必要がある。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

**I 施策の概要**

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	3	生涯学習の推進
	主要施策	6	家庭教育支援の充実
その他関連計画	中標津町生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 乳幼児期の子どもたちと保護者等への支援を行い、すべての保護者が安心して家庭教育が行うことができるようにする。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 地域人材の参画やつながりによる地域の教育力の向上。
---	---

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
	単年	累計									
指標1	単年			実績値							
	累計			達成率							
指標2	単年			実績値							
	累計			達成率							
指標3	単年			実績値							
	累計			達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	170 千円	170 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	170 千円	170 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6361	ブックスタート事業	(523)	75%	○									社会教育係
6361	幼稚園家庭教育学級活動支援	170	80%	○									社会教育係
合計 2 事業			170										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか ブックスタート事業により、保健センターの7・8ヶ月検診時に絵本を配布し、町内各幼稚園に家庭教育学級活動支援として実績に対して補助金を交付した。 ブックスタート事業により、親子での読み聞かせの機会が増え、家庭教育学級ではそれぞれが創意工夫をこらし、保護者の交流や学習が行われた。
---	---

#### 2 課題

各事業の内容充実。

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・ブックスタート事業により、保健センターの7・8ヶ月検診時に絵本を配布し、読み聞かせを通して保護者と幼児のふれあう機会をつくり、就学以後の読書習慣につなげている。 ・町内各幼稚園の家庭教育学級に活動費の一部を補助し、それぞれが創意工夫をこらし、保護者の交流や学習が行われている。
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外



### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	指定管理者による森林公園パークゴルフ場及び正美公園パークゴルフ場の管理運営。 近年全道的に利用人口は頭打ちから減少傾向にあり、ひところの加熱ブームはひと段落した感がある。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

現在は同一の公園内において、公園施設は建設水道部建設管理課が所管し、パークゴルフ施設は教育委員会管理課が所管している関係から、窓口の一本化が望ましい。
---

#### 3 今後の方向性

委託料は、平成26年度から平成29年度の4年間据え置きとなっており、平成30年度の更新に向け、事務の簡素化及び窓口の一本化という観点から全体の施設を公園管理として一元管理するのが望ましいと考える。
--

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林公園パークゴルフ場及び正美公園パークゴルフ場は、指定管理者により適切に管理運営している。</li> <li>公園内の施設であり、建物のように区分が明確でなく地続きであることから公園管理者による一元管理を検討したい。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	4	スポーツの振興
	主要施策	1	スポーツ施設の整備充実・有効活用
その他関連計画	中標津町生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 総合体育館の建設。 運動公園における防風林の計画的な整備。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 多くの町民が利用し、使いやすい施設建設。 整備計画に基づく整備の実施。
---	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 体育施設利用者数	人	230,000	実績値	162,935	205,682	210,670				
	達成率				91.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
指標2	単年		実績値							
	累計		達成率							
指標3	単年		実績値							
	累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	3,900 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	5,120 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,225 千円	81,690 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,225 千円	90,710 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		7404.90 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性									担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I		
6411	(仮称)中標津町総合体育館建設事業	89,816	85%											○ 社会体育係
6412	運動公園防風林整備事業	894	80%											○ 社会体育係
合計 2 事業														
		90,710												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか (仮称)中標津町総合体育館建設事業については、完成以降備品を購入し、平成28年10月1日から供用を開始した。 運動公園防風林整備事業は、平成24年度に整備計画を作成し、平成25年度から整備計画に基づきブロックごとに整備を開始し、平成28年度をもって終了した。 利用者にとって安心安全で利用しやすい施設を提供することができた。
---	--

#### 2 課題

運動公園防風林整備事業については、10年後に再度調査し倒木や事故を防ぐために計画が必要。

#### 3 今後の方向性

(仮称)中標津町総合体育館建設事業については、平成29年度も備品購入を行う。  
 運動公園防風林整備事業は28年度をもって終了。

#### 4 施策の進め方の評価

※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中標津町総合体育館建設事業については、旧中標津体育館の解体工事と町営テニスコートの改修工事が残っているが、利用者のニーズに沿った推進が図られている。</li> <li>・ 運動公園防風林整備事業については、平成28年度に完了し安全が確保された。</li> </ul>
--	---

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

地域交流を担う体育館を拠点とした合宿の誘致の他に、各種イベントや大会の誘致を全庁的に取り組む。

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	4	スポーツの振興
	主要施策	2	スポーツ団体の運営支援
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
		中標津町スポーツ振興計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） スポーツ団体の運営支援。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） いつでもどこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツの実現及びスポーツ合宿の誘致。
-----------------------------	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	スポーツ団体登録者数（財団加盟）	人	○ 単年	1,930	実績値	1,878	1,831	1,784				
			累計		達成率			92.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2	スポーツ少年団登録者数	人	○ 単年	740	実績値	606	733	753				
			累計		達成率			101.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,775 千円	1,475 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,775 千円	1,475 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		83.10 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6421	中標津町文化スポーツ振興事業補助金	1,475	75%	○									社会教育係・社会体育係
6422	スポーツ合宿支援品支給事業	0	52.5%	○									社会体育係
合計 2 事業		1,475											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	中標津町文化スポーツ振興財団本部への補助により財団が健全で安定した運営が継続され、加盟団体の育成が図られた。 スポーツ合宿誘致のためPR資料を作成し、関係機関及び大学へ送付するとともにインターネットへの掲載を行ったが、合宿に訪れた団体はなかった。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

スポーツ合宿の誘致促進
-------------

#### 3 今後の方向性

特にスポーツ合宿の誘致について一層の充実を行うため、継続して実施する。
-------------------------------------

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町の生涯学習活動の一翼を担う一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団本部とNPOなかしべつスポーツアカデミーへの運営費補助により、組織強化が図られ町民の生涯学習活動の活性化が進んでいる。</li> <li>・ スポーツ合宿誘致のためPR資料を作成し、関係機関及び大学へ送付するとともにインターネットへの掲載を行ったが、成果がなく誘致方法の検討が必要である。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

地域交流を担う体育館を拠点とした合宿の誘致の他に、各種イベントや大会の誘致を全庁的に取り組む。
---

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	4	スポーツの振興
	主要施策	3	スポーツ指導者の養成・確保
その他関連計画	中標津町生涯学習推進計画 中標津町スポーツ振興計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
町のスポーツ振興。	スポーツ指導者登録者増。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21 実績	H27 中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	スポーツ指導者登録者数	人	単年	140	実績値	121	139	151				
			累計		達成率	/	/	107.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	10,259 千円	14,010 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	138,681 千円	160,221 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	148,940 千円	174,231 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		116.98 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性								担当係		
				A	B	C	D	E	F	G	H		I	
6432	体育施設運営管理事業(指定管理)	174,231	75%	○										社会体育係
合計 1 事業		174,231												

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	指定管理制度を導入し、管理運営業務の委託を実施したことにより、町民へのサービス向上及び経費の削減が行われた。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

指導者の養成と確保。
------------

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。
-----------

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理制度の導入により、スポーツの専門職員の雇用が進み、運営管理業務の高度化が図られた。</li> <li>指定管理者による各団体や少年団への支援により、スポーツ指導者の育成が推進された。</li> </ul>
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

<b>担当部・課</b>	教育委員会生涯学習課	<b>作成年月日</b>	平成29年6月19日
--------------	------------	--------------	------------

**I 施策の概要**

<b>施策体系</b>	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	4	スポーツの振興
	主要施策	4	スポーツ活動の普及促進
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画 中標津町スポーツ振興計画	
その他関連施策			
担当課			

<p><b>1 目的（何のために）</b></p> <p>「見る」、「支える」、「する」スポーツの振興。</p>	<p><b>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</b></p> <p>各種スポーツ行事、大会、スポーツ教室等の内容充実及び運営体制の充実を図ることで参加者増を目指す。</p>
--	--

**II 施策の実施結果**

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27 中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	定期的にスポーツをする市民の割合（町民アンケート）	%	単年	50	実績値	—	31.7	34.6				
			累計		達成率	／	／	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年		実績値	／	／					
			累計		達成率	／	／					
指標3			単年		実績値	／	／					
			累計		達成率	／	／					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	10,259 千円	14,010 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	138,681 千円	160,221 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	148,940 千円	174,231 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比	／	116.98 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6442	体育施設運営管理経費（指定管理）	174,231	75%	○									社会体育係
合計 1 事業		174,231											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	何を実施し、どのような成果があったか 指定管理制度を導入し、管理運営業務の委託を実施したことにより、町民へのサービス向上及び経費の削減が行われた。
--	--

#### 2 課題

スポーツや健康づくりに関する情報や啓発活動に係る関係部局との連携。

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">A</div> A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	評価の根拠 ・ 従来からの「するスポーツ」に、「見るスポーツ」と「支えるスポーツ」を加えより充実した生涯スポーツの推進が図られている。
---	--

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調書（平成28年度事業実施分）

担当部・課 教育委員会生涯学習課 作成年月日 平成29年6月19日

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	5	文化・芸術の振興
	主要施策	1	文化・芸術団体、指導者の育成
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的(何のために)	2 求める成果(どのような成果を期待するか)
文化芸術団体への学習機会を拡充し、次世代の担い手を発掘し育成する。	文化の継承や次世代の担い手を発掘し、指導者としての育成・確保。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		目標値(H32)	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1	文化・芸術団体の登録者数	人	単年	2,700	実績値	2,678	2,242	2,119				
			累計		達成率	/	/	78.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2			単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					
指標3			単年		実績値							
			累計		達成率	/	/					

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	12,413 千円	10,770 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	211,147 千円	215,489 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	223,560 千円	226,259 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		101.21 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	事務事業評価値	今後の方向性								担当係	
				A	B	C	D	E	F	G	H		I
6512	社会教育施設運営管理(指定管理)	226,259	80%	○									社会教育係
合計 1 事業		226,259											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">B</div>	何を実施し、どのような成果があったか 各種教室や講座を実施した。 文化・芸術団体の登録者数は2,119人と、若干減少傾向にある。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

新規加盟団体の登録者数増への対策。

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">A</div>	評価の根拠 ・ 社会教育施設への指定管理者制度導入により、各種教室や講座・講演会の開催機会が増加し、文化活動の推進が図られている。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

平成29年度中標津町総合発展計画施策評価調査（平成28年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会生涯学習課	作成年月日	平成29年6月19日
-------	------------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本項目(章)	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	5	文化・芸術の振興
	主要施策	2	文化・芸術の鑑賞機会と発表機会の充実
その他関連計画	中標津町生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 内外の優れた音楽や演劇、美術展などの鑑賞機会を設ける。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 多くの鑑賞者が充実感や満足感を得られることにより、豊かな感性を育み、新たな創作意欲を刺激し、町の文化・芸術活動を活性化すること。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 文化・芸術公演での鑑賞者数	人/年	14,000	実績値 達成率	13,195 /	8,575 /	7,672 54.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じる町民の割合（町民アンケート）	%	70	実績値 達成率	- /	- /	59.0 84.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標3			実績値 達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	12,413 千円	10,770 千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	211,147 千円	215,489 千円	千円	千円	千円	千円
事業費	223,560 千円	226,259 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		101.21 %	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6512	社会教育施設運営管理(指定管理)	226,259	80%	○									社会教育係
合計 1 事業		226,259											

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>A</b>	内外の優れた音楽や演劇、美術展などの鑑賞会の開催により、町の文化・芸術活動を活性化する要素のひとつになっている。
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

学校や各団体との連携強化。 より多くの町民に文化・芸術を親んでもらえるようさまざまな工夫。
--

#### 3 今後の方向性

継続して実施する。
-----------

#### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	・ 社会教育施設への指定管理者制度導入により、専門職員による優れた音楽や演劇、美術展などの開催機会が確保され文化・芸術活動の活性化が図られている。
A このまま進めてよい B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外
---------

I 施策の概要

施策体系	基本項目（章）	6	人が輝き歴史と文化を育むまちづくり
	大項目	5	文化・芸術の振興
	主要施策	3	文化財の保護と活用
その他関連計画		中標津町生涯学習推進計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 町民の郷土愛を育み、文化財への理解と保護意識の啓蒙を目指す。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 文化財への理解が深まることで、保護活動に参加するなど行動として成果が表れ、次世代に地域の文化財を守り残すことができること。
---	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）		目標値（H32）	年度	H21実績	H27中間実績	H28	H29	H30	H31	H32
指標1 町内の文化財数（国の天然記念物を除く）	件	単年	75	実績値	72	73	73				
		累計		達成率			97.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指標2		単年		実績値							
		累計		達成率							
指標3		単年		実績値							
		累計		達成率							

2 施策に係る事業費

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	191千円	74千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		38.74%	%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費（千円）	事務事業評価値	今後の方向性							担当係		
				A	B	C	D	E	F	G		H	I
6531	文化財の保護と活用	74	80%	○									学芸係
合計 1 事業			74										

### Ⅲ 一次評価

#### 1 達成状況

施策の進行	何を実施し、どのような成果があったか
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財＝現況調査、所在確認調査、整備</li> <li>・天然記念物＝タンチョウ一斉調査、越冬用給餌場設置と管理、オジロワシ営巣固体継続調査</li> <li>・町指定文化財＝郷土館に展示</li> <li>・銃砲刀剣＝刀剣及び古式銃砲の申請窓口事務</li> <li>・登録有形文化財(建造物＝管理等の指導助言と事務</li> <li>・文化財保護審議会の会議開催</li> <li>・町内小学校の授業における体験事業の実施</li> </ul> 事業の実施により、文化財への理解と保護意識の啓蒙を図ることができた。
A 目標に向かって順調に進んでいる	
B 目標に向かって概ね順調に進んでいる	
C 目標に向かってあまり進んでいない	
D 目標に向かって進んでいない	

#### 2 課題

各種文化財の積極的な掘り起し及び指定(または登録等)の実施。
--------------------------------

#### 3 今後の方向性

現在指定及び登録されている文化財の保護・整備・活用を推進し、文化財保護思想の普及啓発に努める。 また、新たな文化財候補の発見発掘に務め、町の貴重な文化財の保護を推進する。
--

#### 4 施策の進め方の評価

##### ※部長職による評価欄

担当部長

教育部長

施策の進め方	評価の根拠
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財には多くの種類があり、業務も多岐にわたっているが、埋蔵文化財や天然記念物の調査・確認・整備や各種手続き、文化財保護思想の普及啓発が実施できている。</li> </ul>
A このまま進めてよい	
B 若干の見直し・修正が必要	
C 大幅な見直し・修正が必要	

### Ⅳ 二次評価および外部評価

#### 1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり
-------------

#### 2 外部評価(自己評価に対する意見等)

外部評価対象外
---------